

## 子ども教育学科

三浦 主博

佐藤 淳一

鈴木 昌弘

宮崎 正美

四家 昌博

千 凡晋

呂 光暁

坂場 寛子

松好 伸一

津田 綾子

ハットフィールド スティーヴン

## 自己点検表

### 1. 教員個別表

|                            |                        |  |
|----------------------------|------------------------|--|
| フリガナ ミウラ キミヒロ<br>氏 名 三浦 主博 | 職 名 教授<br>人間学部 子ども教育学科 | 取 得 学 位 修士(教育学)<br>(大学名) 東北大学大学院 (取得年月) 1995年 3月 |
|----------------------------|------------------------|--|

### 2. 教育・研究業績表

#### (1) 過去5年間の教育業績

| 教育実践上の主な業績   | 年月(西暦)   | 概 要   |
|--|----------|---|
| ・つながる保育原理〔第2版〕   | 2025年4月  | 保育士養成課程における「保育原理」の教科書                           |
| ・子どもの育ちと多様性に向き合う障害児保育-ソーシャルインクルージョン時代における理論と実践-(みらい)     | 2024年3月  | 保育士養成課程における「障害児保育」の教科書                          |
| ・子どもとかかわる人のための心理学 —保育の心理学、子ども家庭支援心理学、子どもの理解と援助への扉—(萌文書林) | 2020年10月 | 保育士養成課程における「保育の心理学」「子ども家庭支援の心理学」「子どもの理解と援助」の教科書 |
| ・保育実践に求められる子育て支援(ミネルヴァ書房)                                | 2019年10月 | 保育士養成課程における「子育て支援」の教科書                          |
| ・図解で学ぶ保育 子ども家庭福祉(萌文書林)                                   | 2019年9月  | 保育士養成課程における「子ども家庭福祉」の教科書                        |
| ・演習・保育と子育て支援(みらい)  | 2019年8月  | 保育士養成課程における「子育て支援」の教科書                          |

## (2) 過去5年間の研究業績

| I 研究活動  |          |                    |                          |                                    |                                    |                                 |
|---|----------|--------------------|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|
| 著書・論文等の名称   | 単著<br>共著 | 発行または発表<br>の年月(西暦) | 発行所、発表雑誌<br>(巻・号数)等の名称   | 共著者名<br>(共著の場合)                    | 編者名と当該執筆<br>者数(編著の場合)              | 該当頁数                            |
| [著書]<br>つながる保育原理〔第2版〕                               | 共著       | 2025年4月            | みらい                      |                                    | 井上孝之・小原敏郎・ <u>三浦主博</u> 編著・<br>他13名 | 28-29,<br>170-189               |
| 子どもの育ちと多様性に向き合う障害児保育-ソーシャルインクルージョン時代における理論と実践-      | 共著       | 2024年3月            | みらい                      |                                    | 小原敏郎・橋本好市・ <u>三浦主博</u> 編著・<br>他18名 | 72-91                           |
| 子どもとかかわる人のための心理学 ―保育の心理学、子ども家庭支援心理学、子どもの理解と援助への扉―   | 共著       | 2020年10月           | 萌文書林                     |                                    | 沼山博・ <u>三浦主博</u> 編著・他11名共著         | 111-145,<br>162-165,<br>173-180 |
| [論文]<br>保育内容(言葉)の授業実践と学生の学びについて～KH Coderによる記述回答の分析～ | 共著       | 2025年3月            | 東北福祉大学教職研究 2024          | 山崎敦子・ <u>三浦主博</u>                  |                                    | 119-132                         |
| 実習および実習指導の取り組み                                      | 共著       | 2025年3月            | 仙台白百合女子大学教職課程研究センター報 第4号 | 津田綾子・ <u>三浦主博</u> ・松好伸一            |                                    | 11-14                           |
| こども家庭庁とこども基本法の概要と解説                                 | 単著       | 2023年4月            | みらい                      |                                    |                                    | 1-10                            |
| 教職実践演習におけるグループアプローチの活用と効果について(5)                    | 共著       | 2023年3月            | 聖霊女子短期大学紀要第51号           | 織田栄子・利根川智子・ <u>三浦主博</u> ・上村裕樹・音山若穂 |                                    | 1-11                            |
| 保護者との関係構築力の育成を目指すブレンディッドラーニング教材の開発                  | 共著       | 2023年1月            | 共立女子大学家政学部紀要第69号         | 小原敏郎・恒川丹・ <u>三浦主博</u>              |                                    | 99-108                          |

|                                      |    |         |                                    |   |         |
|--------------------------------------|----|---------|------------------------------------|---|---------|
| オンラインでの対話による保育実習の振り返りに関する検討          | 共著 | 2022年3月 | 東北福祉大学教職研究 2021年                   | 利根川智子, 音山若穂, 織田栄子, 上村裕樹, <u>三浦主博</u>        | 153-168 |
| 「言葉遊び」を取り入れた授業の工夫—「保育内容(言葉)」の授業実践より— | 共著 | 2021年3月 | 東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部教職課程センター報 5号 | <u>三浦主博</u> , 佐藤深雪                          | 79-82   |
| 対話的アプローチによる実習の振り返りの授業実践とその課題         | 共著 | 2020年3月 | 東北福祉大学教職研究 2019年                   | 利根川智子, 音山若穂, <u>三浦主博</u> , 和田明人, 上村裕樹, 織田栄子 | 143-162 |
| 教職実践演習におけるグループアプローチの活用と効果について(4)     | 共著 | 2020年3月 | 聖霊女子短期大学紀要 48号                     | 織田栄子, 利根川智子, 音山若穂, <u>三浦主博</u> , 上村裕樹       | 1-10    |
| 保育者養成におけるキャリア発達を促すための教育プログラム開発の試み(3) | 共著 | 2020年2月 | 東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部紀要 50号       | 三浦主博, 音山若穂, 利根川智子, 上村裕樹, 織田栄子               | 155-160 |

| 翻訳           |          |                    |                        |                 |                         |      |
|--------------|----------|--------------------|------------------------|-----------------|-------------------------|------|
| 翻訳書・翻訳論文等の名称 | 単訳<br>共訳 | 発行または発表<br>の年月(西暦) | 発行所、発表雑誌<br>(巻・号数)等の名称 | 共訳者名<br>(共訳の場合) | 監修者名と当該訳者<br>数(監修訳書の場合) | 該当頁数 |
|              |          |                    |                        |                 |                         |      |

| 学術研究発表  |          |                     |
|---|----------|---------------------|
| 発表テーマ   | 発表年月(西暦) | 発表場所                |
| シンガポールにおける早期介入教育者(Early Intervention Educator)の養成<br>— EI Centre 及び NIEC 視察報告(1)—         | 2025年5月  | 日本保育学会 第78回大会       |
| シンガポールにおける就学前教育及び発達支援の充実に向けた個別支援の仕組み<br>—EI Centre 及び NIEC 視察報告(2)—                       | 2025年5月  | 日本保育学会 第78回大会       |
| シンガポールの保育者養成教育における授業とその特徴 —NIEC (National Institute of Early Childhood Development) 視察報告— | 2025年3月  | 日本保育者養成教育学会 第9回研究大会 |
| 保育者養成におけるブレンディドラーニングを用いた保護者との関係構築力の育成を目指した授業実践について(3)                                     | 2024年3月  | 日本保育者養成教育学会 第8回研究大会 |
| 台湾における幼稚園と保育者養成校の視察報告   | 2024年3月  | 日本保育者養成教育学会 第8回研究大会 |
| 保育者養成におけるブレンディドラーニングを用いた保護者との関係構築力の育成を目指した授業実践について(2)                                     | 2023年5月  | 日本保育学会 第76回大会       |
| 保育者養成課程におけるケース・カンファレンスの進め方の検討   | 2023年3月  | 日本保育者養成教育学会 第7回研究大会 |
| 保護者との関係構築力の育成を目指す ICT を活用した教材開発について(2)  | 2023年3月  | 日本保育者養成教育学会 第7回研究大会 |
| 保育者養成におけるブレンディドラーニングを用いた保護者との関係構築力の育成を目指した授業実践について  | 2022年5月  | 日本保育学会 第75回大会       |
| 保護者との関係構築力の育成を目指す ICT を活用した教材研究について   | 2022年3月  | 日本保育者養成教育学会 第6回研究大会 |
| 教育実習における養成校の実態と意識 I～教育実習についての実態調査～  | 2021年3月  | 日本保育者養成教育学会 第5回研究大会 |
| 教育実習における養成校の実態と意識 II～教育実習と保育実習の比較～  | 2021年3月  | 日本保育者養成教育学会 第5回研究大会 |
| 保育者養成におけるキャリア発達を促すための教育プログラムの開発(4)  | 2020年3月  | 日本保育者養成教育学会 第4回研究大会 |

| II 所属学会     |         |          |
|-------------|---------|----------|
| 学会名         | 役職      | 入会年月(西暦) |
| 日本特殊教育学会    |         | 1993年4月  |
| 日本保育学会      |         | 2001年4月  |
| 日本発達心理学会    |         | 2005年4月  |
| 日本教育心理学会    |         | 2005年4月  |
| 日本保育者養成教育学会 | 理事／編集委員 | 2016年9月  |
| 日本感性福祉学会    | 理事      | 2025年3月  |

| III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)                  |                  |                         |  |             |
|--|------------------|-------------------------|--|-------------|
| 助成機関名                                    | 助成を受けた年度<br>(西暦) | 助成プログラム                 | 研究テーマ  | 助成金額<br>(円) |
| 科学研究費助成事業                                | 2025年<br>～2027年  | 基盤研究C                   | ICT活用による保育者の動線を用いたリフレクション支援ツールの開発            | 150万        |
| 全国保育士養成協議会、及び<br>全保養協東北ブロック<br>科学研究費助成事業 | 2023年            | ブロック共同研究・研究費助成<br>基盤研究C | 保育者の資質・専門性の向上に資する「保育実習内容チェックリスト」の開発(研究協力委員)  | 80万         |
| 全国保育士養成協議会、及び<br>全保養協東北ブロック<br>科学研究費助成事業 | 2022年<br>～2025年  | ブロック共同研究・研究費助成<br>基盤研究C | 対話型組織開発による保育研修支援とミドルリーダー育成プログラムの構築(研究分担者)    | 140万        |
| 全国保育士養成協議会、及び<br>全保養協東北ブロック<br>科学研究費助成事業 | 2022年            | ブロック共同研究・研究費助成<br>基盤研究C | 保育者養成の変化と課題(2)(研究協力委員)                       | 80万         |
| 全国保育士養成協議会、及び<br>全保養協東北ブロック<br>科学研究費助成事業 | 2021年<br>～2023年  | ブロック共同研究・研究費助成<br>基盤研究C | 保育者養成におけるブレンディドラーニングを用いた保護者との関係構築力の育成(研究分担者) | 100万        |
| 全国保育士養成協議会、及び<br>全保養協東北ブロック<br>科学研究費助成事業 | 2021年            | ブロック共同研究・研究費助成<br>基盤研究C | 保育者養成の変化と課題(研究協力委員)                          | 80万         |
| 全国保育士養成協議会東北ブロック                         | 2020年            | ブロック特別研究プロジェクト          | 保育実習代替授業プログラムの検討・教材開発(共同研究者)                 | 112万        |

|                             |       |                    |   |     |
|-----------------------------|-------|--------------------|---|-----|
| 全国保育士養成協議会、及び<br>全保養協東北ブロック | 2019年 | ブロック共同研<br>究・研究費助成 | 養成校と実習施設との連携に向けた実習内容に関する調査研究(2)～実習施設の<br>実態と意識～(研究協力委員) | 80万 |
|-----------------------------|-------|--------------------|---|-----|

### 3. 特記事項

#### [非常勤講師]

- ・東北福祉大学 教育学部 「子どもと言葉／保育内容(言葉)の理論と方法」(2016年4月～現在)
- ・宮城学院女子大学 教育学部 「幼児理解の理論と方法」(2018年4月～現在)
- ・東北生活文化大学短期大学部 生活文化学科 「発達心理学(～2024年)」「保育者論(2025年～)」(2020年4月～現在)

#### [社会的活動(委員等)]

- ・宮城県保育者養成校連絡協議会・会長(2017年12月～現在)
- ・宮城県社会福祉審議会・委員(2024年4月～現在)
- ・仙台市社会福祉協議会泉区社会福祉協議会・委員(2018年4月～現在)
- ・川崎町子ども・子育て会議・委員(2024年9月～現在)
- ・仙台市保育専門技術向上支援事業スーパーバイザー(2019年4月～現在)
- ・富谷市公立保育所療育支援巡回相談員(2024年6月～現在)
- ・仙台市保育所連合会 研究委員会 共同研究・助言者(2022年7月～現在)
- ・全国保育士養成協議会 専門委員(2009年5月～2012年5月)
- ・全国保育士養成協議会 保育士試験作問委員(2018年1月～現在)
- ・全国保育士養成協議会 保育士養成専門委員(2022年4月～現在)
- ・全国保育士養成協議会 保育実習指導者講習実施小委員会・委員(2024年4月～現在)
- ・全国保育士養成協議会東北ブロック研究委員会 委員長(2010年4月～2012年4月、2016年4月～2018年4月)
- ・全国保育士養成協議会東北ブロック 企画委員会 委員(2016年11月～現在)
- ・全国保育士養成協議会東北ブロック 研究委員会 協力研究委員(2018年4月～現在)

#### [研修会・講演会 講師等]

|                                      |            |                      |
|--------------------------------------|------------|----------------------|
| 令和6年度 岡山県保育実習委員会 研修会 講師              | 2025年2月21日 | 保育実習指導のミニマムスタンダードと課題 |
| 令和6年度 企業主導型保育事業 施設長等研修 講師            | 2024年10月1日 | 人口減少社会と子育て家庭支援       |
| 令和6年度 宮城県中央ブロック連絡協議会「主任保育士研修会」<br>講師 | 2024年9月17日 | 保育におけるマネジメント         |

|  |  |  |
|--|--|--|
| 令和 6 年度 岩手県保育士等キャリアアップ研修 講師            | 2024 年 9 月 2 日                             | 障害児保育  |
| 令和 6 年度 全国保育士養成協議会 実習指導者認定講習 講師        | 2024 年 8 月 22-23 日 /<br>2025 年 3 月 20-21 日 | 実習施設との連携・協働  |
| 令和 6 年度 仙台市 リーダー的保育士研修 講師              | 2024 年 8 月 21 日                            | チーム保育を考える～職場におけるコミュニケーション～                                     |
| 令和 5 年度 神戸大学 乳幼児教育学セミナー 講師             | 2024 年 3 月 24 日                            | 保育者養成校と保育現場における ICT の活用の現状と課題                                  |
| 令和 5 年度 宮城県中央ブロック連絡協議会「主任保育士研修会」<br>講師 | 2024 年 2 月 16 日                            | 保育所におけるマネジメント  |
| 令和 5 年度 宮城県現任保育士研修 所長研修 講師             | 2024 年 1 月 25 日 / 2 月 9 日                  | 保育所におけるマネジメント  |
| 日本医療保育学会 第 20 回全国研修会 講師                | 2023 年 11 月 4 日～30 日 (オンデマンド)              | こども家庭庁及びこども基本法とは？  |
| 令和 5 年度 福島県保育士等キャリアアップ研修 講師            | 2023 年 10 月 20 日                           | 障害児保育  |
| 令和 5 年度 宮城県保育施設保育士基礎研修 講師              | 2023 年 9 月 7 日                             | 発達のに気になる子どもの理解と援助  |
| 令和 4 年度 第 2 回宮城県幼児教育アドバイザー連絡会議・研修会     | 2023 年 2 月 3 日                             | 特別な配慮を必要とする幼児への支援  |
| 令和 4 年度 福島県保育士等キャリアアップ研修(郡山会場) 講師      | 2022 年 11 月 12 日                           | 障害児保育  |
| 令和 4 年度 宮城県社会福祉施設職員 保育所主任保育士研修         | 2022 年 8 月 23 日                            | 保育実習から見る人材育成   |
| 令和 4 年度 合同業務研修(仙台市沖野保育所・木ノ下保育所)        | 2022 年 6 月 25 日 / 10 月 29 日                | 子どもが主体的に過ごす保育を学ぶ   |
| いずみ松陵幼稚園・保護者向け講演会                      | 2022 年 5 月 28 日                            | 「遊ぶことは学ぶこと」～幼児期の遊びを通して生きる力を育む～                                 |
| 岩手県社会福祉協議会・保育協議会 令和 3 年度保育所長・保育者<br>部会 | 2022 年 2 月 18 日                            | 子どもの主体的な育ちを実現する環境づくりに向けて ～保育所保<br>育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の観点から～ |
| 令和 3 年度 宮城県 子育てサポーターリーダー養成講座           | 2021 年 11 月 18 日                           | 障害のある子どもの理解と対応   |
| 令和 3 年度 山形県保育士等キャリアアップ研修(置賜会場) 講師      | 2021 年 10 月 29 日                           | 障害児保育  |

|  |                   |  |
|--|-------------------|--|
| 令和3年度 宮城県社会福祉施設職員 保育所(園)長研修            | 2021年8月27日        | 保育実習から見る人材育成                           |
| 令和3年度 幼稚園教諭免許状更新講習 講師                  | 2021年8月1日         | 子どもの障がいの理解と援助                          |
| 令和3年度 仙台市 主任職員研修会                      | 2021年6月2日         | 保育現場における効果的な研修方法 ―「自己評価ガイドライン」に基づいて―   |
| 令和2年度 山形県保育士等キャリアアップ研修(村山会場) 講師        | 2020年10月12日～13日   | 障害児保育                                  |
| 令和2年度 仙台白百合女子大学出張出前講座(福島南高校)講師         | 2020年10月8日        | 保育者を指す人へ                               |
| 令和2年度 山形県保育士等キャリアアップ研修(庄内会場) 講師        | 2020年10月5日～6日     | 障害児保育                                  |
| 夢ナビライブ2020 仙台会場 講義ライブ 講師               | 2020年10月3日        | 保育は大変？ 保育の課題と魅力を考える                    |
| 令和2年度 宮城県保育士等キャリアアップ研修(大崎会場) 講師        | 2020年9月4日,11日,17日 | 障害児保育                                  |
| 令和2年度 宮城県保育士等キャリアアップ研修(仙台会場) 講師        | 2020年9月2日,9日,14日  | 障害児保育                                  |
| 令和2年度 宮城県児童館・放課後児童クラブ連絡協議会 児童館職員等研修会   | 2020年9月3日,8日,24日  | 子どもの発達の理解と援助                           |
| 令和2年度 幼稚園教諭免許状更新講習 講師                  | 2020年8月22日        | 子どもの障がいの理解と援助                          |
| 令和2年度 東北生活文化大学教員免許状更新講習                | 2020年8月10日        | 子どもの理解と援助 ～インクルーシブ教育・保育～               |
| 令和2年度 宮城県私立幼稚園連合会 webを活用した園内園研修の進め方研修会 | 2020年8月6日         | 保育記録「記録の作成から活用まで」                      |
| 2020 みやぎ保育カフェ 講師・ファシリテーター              | 2020年7月26日        | 子どもに笑顔を届けるために／ワールドカフェで語ろう～改めて考える保育の魅力～ |

## 自己点検表

### 1. 教員個別表

|                             |                          |   |
|-----------------------------|--------------------------|---|
| フリガナ サトウ ジュンイチ<br>氏 名 佐藤 淳一 | 職 名 特任教授<br>人間学部 子ども教育学科 | 取 得 学 位 修 士(教育学)<br>(大学名)宮城教育大学大学院 (取得年月)1999年3 月 |
|-----------------------------|--------------------------|---|

### 2. 教育・研究業績表

#### (1) 過去5年間の教育業績

| 教育実践上の主な業績   | 年月(西暦)            | 概 要   |
|--|-------------------|---|
| 「震災と学校教育」について全国の小中学校、高校、大学や企業等で講演、講義を实践。震災発生の年からこれまで全国 244 カ所、4 万 1 千人を越える方々に講演。 | 2011年から<br>現在も継続中 | 「心を育む防災教育」のありかたを追究しながら、被災当時の学校、生徒、地域の状況、そこから這い上がろうとする子どもたちとそれを支え続けた教員の実録を伝え続けている。 |

#### (2) 過去5年間の研究業績

| I 研究活動                             |          |                    |                            |                 |                       |           |
|------------------------------------|----------|--------------------|----------------------------|-----------------|-----------------------|-----------|
| 著書・論文等の名称                          | 単著<br>共著 | 発行または発表<br>の年月(西暦) | 発行所、発表雑誌<br>(巻・号数)等の名称     | 共著者名<br>(共著の場合) | 編者名と当該執筆<br>者数(編著の場合) | 該当頁数      |
| ・新版・中学生道徳 明日への扉 2 未来に響け<br>“復興輪太鼓” | 共        | 2025. 1            | 文部科学省教科書中学校道<br>徳 224 学研   |                 |                       | p138～p141 |
| ・「未来につなぐ命のバトン」                     | 共        | 2024. 1            | 東京教育研究所 教授資料<br>NO359 東京書籍 |                 |                       | P4～P9     |
| ・学校教育の可能性を信じて                      | 共        | 2022. 3            | 明治大学教育界紀要第 14 号<br>明治大学教育会 |                 |                       | P61～P83   |
| ・「たくましく生きよ」そして「共に生きる」              | 単        | 2022. 1            | ワニ・プラス                     |                 |                       | 全         |

| 翻訳           |          |                    |                        |                 |                         |      |
|--------------|----------|--------------------|------------------------|-----------------|-------------------------|------|
| 翻訳書・翻訳論文等の名称 | 単訳<br>共訳 | 発行または発表<br>の年月(西暦) | 発行所、発表雑誌<br>(巻・号数)等の名称 | 共訳者名<br>(共訳の場合) | 監修者名と当該訳者<br>数(監修訳書の場合) | 該当頁数 |
| なし           |          |                    |                        |                 |                         |      |

| 学研究発表 |          |      |
|-------|----------|------|
| 発表テーマ | 発表年月(西暦) | 発表場所 |
| なし    |          |      |

| II 所属学会 |    |          |
|---------|----|----------|
| 学会名     | 役職 | 入会年月(西暦) |
| なし      |    |          |

| III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間) |                  |         |       |             |
|-------------------------|------------------|---------|-------|-------------|
| 助成機関名                   | 助成を受けた年度<br>(西暦) | 助成プログラム | 研究テーマ | 助成金額<br>(円) |
| なし                      |                  |         |       |             |

### 3. 特記事項

|      |
|------|
| 特になし |
|------|

## 自己点検表

### 1. 教員個別表

|                            |                    |   |
|----------------------------|--------------------|---|
| フリガナ スズキ マサヒロ<br>氏 名 鈴木 昌弘 | 職 名<br>人間学部 子ども教育科 | 取 得 学 位 教育学修士<br>(大学名) 東北大学 (取得年月) 2025 年 3 月 |
|----------------------------|--------------------|---|

### 2. 教育・研究業績表

#### (1) 過去 5 年間の教育業績

| 教育実践上の主な業績                | 年月(西暦)      | 概 要  |
|---------------------------|-------------|--|
| テキスト分析による論理的な物語の読解の教授学習方略 | 2016 年 4 月～ | 物語における場面ごとの主人公の言動と気持ちの確認やクライマックスの前後から主人公の変容から主題を求める教授学習は、真の主題を見逃し児童生徒の学習意欲を損なっている。それを克服するために、一見無関係であり矛盾する表現に着目し止揚(総合)する方略を実践研究し、それを小中学校の教員に指導し、今年度から学生に指導している。 |

#### (2) 過去5年間の研究業績

| I 研究活動  |          |                    |   |                 |                       |                              |
|---|----------|--------------------|---|-----------------|-----------------------|------------------------------|
| 著書・論文等の名称   | 単著<br>共著 | 発行または発表<br>の年月(西暦) | 発行所、発表雑誌<br>(巻・号数)等の名称  | 共著者名<br>(共著の場合) | 編者名と当該執筆<br>者数(編著の場合) | 該当頁数                         |
| [著書]<br>・メロスは何故少女に赤面するのか～「テキスト分析」でつくる文学の授業  | 単著       | 2020.4             | 三省堂   |                 |                       | 全 157 頁                      |
| [論文]<br>・物語の読解方略としての「テキスト分析」の有効性—『ごんぎつね』を対象として—<br>・「対話的な学習」と何か。あるいは国語教師の存在理由について | 単著<br>単著 | 2025.3<br>2018.3   | 東北大学大学院教育学研究<br>科修士論文<br>大阪教育大学国語教育学会<br>『国語と教育』2018 年 第 43 号 |                 |                       | 全 201 頁<br>72-91 頁<br>(20 頁) |

#### 翻訳

| 翻訳書・翻訳論文等の名称 | 単訳<br>共訳 | 発行または発表<br>の年月(西暦) | 発行所、発表雑誌<br>(巻・号数)等の名称 | 共訳者名<br>(共訳の場合) | 監修者名と当該訳者<br>数(監修訳書の場合) | 該当頁数 |
|--------------|----------|--------------------|------------------------|-----------------|-------------------------|------|
|--------------|----------|--------------------|------------------------|-----------------|-------------------------|------|

| 学術研究発表  |            |               |  |
|---|------------|---------------|--|
| 発表テーマ   | 発表年月(西暦)   | 発表場所          |  |
| ・物語の読解方略としての「テキスト分析」の有効性—『ごんぎつね』を対象として—                               | 2024年7月6日  | 札幌学院大学江別キャンパス |  |
| ・「人間の本性に根ざした所属感・貢献感を賦活する生徒集団づくり～「荒れ」の克服から「不登校」「低学力」の改善へ～」第42回学校づくり研究会 | 2020年3月21日 | 大阪大学中之島センター   |  |
| ・「対話『的』な学習を支えるもの～「少年の日の思い出」テキスト分析を通して～」第53回大阪教育大学国語教育学会               | 2017年8月5日  | 大阪教育大学柏原キャンパス |  |

| II 所属学会    |    |          |
|------------|----|----------|
| 学会名        | 役職 | 入会年月(西暦) |
| 日本国語教育学会   | 会員 | 2021年8月  |
| 日本教授学習心理学会 | 会員 | 2022年3月  |

| III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間) |              |         |       |         |
|-------------------------|--------------|---------|-------|---------|
| 助成機関名                   | 助成を受けた年度(西暦) | 助成プログラム | 研究テーマ | 助成金額(円) |
|                         |              |         |       |         |

### 3. 特記事項

|  |
|--|
| ・(多賀城市大代公民館「山茶花大学」講師)「テキスト分析」で読み解く「ごんぎつね」(2024.12) |
|--|

## 自己点検表

### 1. 教員個別表

|  |                |                |   |
|--|----------------|----------------|---|
| フリガナ    ハットフィールド スティーヴン<br>氏    名    HATFIELD STEVEN | 職    名<br>人間学部 | 学 科<br>子ども教育学科 | 取 得 学 位    文学修士<br>(大学名) 東北大学                      (取得年月) 2008    年    3月 |
|--|----------------|----------------|---|

### 2. 教育・研究業績表

#### (1) 過去5年間の教育業績

| 教育実践上の主な業績  | 年月(西暦) | 概 要 |
|---|--------|-----|
| <p>My teaching method focuses on engaging students more enthusiastically in English to enhance their language skills through ample positive reinforcement.</p> <p>I've offered extended office hours throughout the week. I also offer office hours on Saturdays and Zoom lessons during spring and summer vacations.</p> <p>I am helping Global Studies and Human Development students with the EIKEN test.</p> <p>I want artistic students to use their abilities and accomplish something extraordinary. I've published seven children's storybooks with illustrations in Children's Education, Social Work, and Global Studies. I'm currently working on more books with students. This allows them to showcase their artistic talents and provides good English practice by creating books together.</p> |        |     |

#### (2) 過去5年間の研究業績

| I 研究活動   |          |                    |                        |                 |                       |          |
|--|----------|--------------------|------------------------|-----------------|-----------------------|----------|
| 著書・論文等の名称  | 単著<br>共著 | 発行または発表<br>の年月(西暦) | 発行所、発表雑誌<br>(巻・号数)等の名称 | 共著者名<br>(共著の場合) | 編者名と当該執筆<br>者数(編著の場合) | 該当頁数     |
| The Junior Chocolate Children Volume 3               | 単        | 2025.1             | Amazon. KDP            |                 |                       | 頁計 40 頁  |
| The Wendy And Wanda Chronicles: 3rd Edition          | 単        | 2024.11            | Amazon. KDP            |                 |                       | 頁計 130 頁 |
| The Junior Chocolate Children Volume 2               | 単        | 2024.5             | Amazon. KDP            |                 |                       | 頁計 35 頁  |
| The Junior Chocolate Children Volume 1               | 単        | 2023.10            | Amazon. KDP            |                 |                       | 頁計 63 頁  |
| Otis Meal's Extraordinary Adventure: 2nd Edition     | 単        | 2023. 7            | Amazon. KDP            |                 |                       | 頁計 163 頁 |
| The Wagamama Pasta Restaurant 4th Edition            | 単        | 2023.7             | Amazon. KDP            |                 |                       | 頁計 46 頁  |
| The Wendy and Wanda Chronicles: 2nd Edition          | 単        | 2023.3             | Amazon KDP             |                 |                       | 頁計 32 頁  |
| Eugene's March and 2 More Kids Stories               | 単        | 2022.11            | Amazon KDP             |                 |                       | 頁計 31 頁  |
| The Wagamama Pasta Restaurant 3rd Ed.                | 単        | 2022.4             | Amazon KDP             |                 |                       | 頁計 38 頁  |
| The Wendy and Wanda Chronicles: I Funnian            | 単        | 2022.1             | Amazon. KDP            |                 |                       | 頁計 121 頁 |
| Thunder and Rain Are Friends & The Boo-Boo Bulldozer | 単        | 2021.7             | Amazon KDP             |                 |                       | 頁計 38 頁  |
| The Wendy and Wanda Chronicles                       |          | 2021.6             | Amazon KDP             |                 |                       | 頁計 24 頁  |

|  |   |        |                                |  |  |             |
|--|---|--------|--------------------------------|--|--|-------------|
| The Wagamama Pasta Restaurant  | 単 | 2021.5 | Amazon KDP                     |  |  | 頁計 195 頁    |
| Otis Meal's Extraordinary Adventure  | 単 | 2021.5 | Amazon KDP                     |  |  | 頁計 148 頁    |
| The Wagamama Restaurant & 2 More Magical Tales<br>Textbook Version 2nd Edition | 単 | 2021.5 | Amazon KDP                     |  |  | 99 頁-117 頁  |
| The Wagamama Restaurant & 2 More Tales of MAGIC:<br>Textbook Version           | 共 | 2021.5 | Amazon KDP                     |  |  | 147 頁-149 頁 |
| Japanese University Students' Perspective on K-12<br>Bullying in Japan         | 共 | 2020.8 | 仙台白百合女子大学紀要<br>第 25            |  |  | 頁計 118 頁    |
| Repairing American Policies and Attitudes Regarding<br>Mexican Immigration     | 単 | 2020.3 | 仙台白百合女子大学カトリック<br>研究所論集 第 24 号 |  |  | 頁計 118 頁    |
| Keeping the Black and Yellow Out of the Canadian<br>Multicultural Mosaic       |   | 2020.3 | 仙台白百合女子大学紀要<br>第 24            |  |  |             |
| Funnian and Other Stories  |   | 2019.3 | Amazon. KDP                    |  |  |             |
|  |   | 2019.5 |                                |  |  |             |

| 翻訳           |          |                    |                        |                 |                         |      |
|--------------|----------|--------------------|------------------------|-----------------|-------------------------|------|
| 翻訳書・翻訳論文等の名称 | 単訳<br>共訳 | 発行または発表<br>の年月(西暦) | 発行所、発表雑誌<br>(巻・号数)等の名称 | 共訳者名<br>(共訳の場合) | 監修者名と当該訳者<br>数(監修訳書の場合) | 該当頁数 |

|        |  |  |          |      |  |  |
|--------|--|--|----------|------|--|--|
|        |  |  |          |      |  |  |
| 学術研究発表 |  |  |          |      |  |  |
| 発表テーマ  |  |  | 発表年月(西暦) | 発表場所 |  |  |
|        |  |  |          |      |  |  |

|         |    |          |
|---------|----|----------|
| II 所属学会 |    |          |
| 学会名     | 役職 | 入会年月(西暦) |
|         |    |          |

|                         |                  |         |       |             |
|-------------------------|------------------|---------|-------|-------------|
| III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間) |                  |         |       |             |
| 助成機関名                   | 助成を受けた年度<br>(西暦) | 助成プログラム | 研究テーマ | 助成金額<br>(円) |
|                         |                  |         |       |             |

### 3. 特記事項

|                               |
|-------------------------------|
| 1984年～1985年 USA長老教会の伝導事業計画に参加 |
|-------------------------------|

## 自己点検表

### 1. 教員個別表

|                               |                        |   |
|-------------------------------|------------------------|---|
| フリガナ ミヤ ザキ マサミ<br>氏 名 宮 崎 正 美 | 職 名 教授<br>人間学部 子ども教育学科 | 取 得 学 位 Sacrae Theologiae Licentiatius・神学修士<br>(大学名) FACULTAS ECCLESIASTICA THEOLOGIAE<br>TOKYOENSIS(UNIVERSITAS CATHOLICA SOPHIA)・上智大学<br>(取得年月) 1992年2月・1992年3月 |
|-------------------------------|------------------------|---|

### 2. 教育・研究業績表

#### (1) 過去5年間の教育業績

| 教育実践上の主な業績                          | 年月(西暦)                           | 概 要  |
|-------------------------------------|----------------------------------|--|
| 1. 講義「人間論」<br>(旧カリキュラム「人間論Ⅰ」「人間論Ⅱ」) | 2019.4～現在<br>(2011.4～<br>2019.3) | <p>学部共通科目必修科目。全学科3年次開講科目。</p> <p>下記「人間論Ⅰ」「人間論Ⅱ」の授業内容を、1/2の時間数で実施するという難題を負い、従来と同様の方法を用いながら、受講生の授業内容の理解しやすさを考慮して実施している。</p> <p>科目内容は(キリスト教的)人間学として、人間に関する総合的理解(したがって多分野にわたる諸科学の協働)の必要性を理解する。また、「人間とは何か」という問いを通して、現実の中の神秘に目を向けつつ真理を探究することを学ぶ。最初に、大学における自由七科の意義に目を向けさせる。さらに、人間のいのちについて、「子どものいのち」という切り口から、①現代・日本、②古代・聖書の文化、③近代・日本の文化と条件を変えて学生に考えさせる。死に向かって生きている人間の現実を考察させた。②については、聖書のことばを、聖書学の方法論を簡便に用いることによって解説し、歴史的文化的背景を理解しながらそのコンテキストを学ばせる。③については、室生犀星の作品「童子」「後の日の童子」を映像化した是枝裕和監督『後の日』を観てもらい、考えさせた。</p> <p>また、犯罪被害という特殊に思われる問題を取り上げることによって、望ましくない人間関係に置かれてしまう状況の理解、「償い」「ゆるし」の問題の理解を進めた。考えるきっかけとして、公共放送をはじめ一般の番組で放映された番組のビデオ録画を活用した。その他 VHS、DVD の映像資料や、PowerPoint を活用した。</p> <p>資料の提供や質問等の情報ツールには Google Classroom を利用し、また適当な番組があれば NHK+を補助的な資料(ただし放映から1週間以内)として紹介・提示(リンク)する。</p> <p>人間一般のおかれた環境のなかでキリスト教の世界観・価値観がもつ意味を説明するように工夫している。人間の死と生、家族をめぐる複合的な問題を意識させ、「人間が生きている」ことの意味を、自分自身で問い</p> |

|                 |               |   |
|-----------------|---------------|---|
| 2. 講義「キリスト教学Ⅱ」  | 2024.4～現在     | <p>続けることができるように授業計画をたて、実施した。</p> <p>学部共通科目選択科目。子ども教育学科を除く全学科2年次開講科目。</p> <p>キリスト教について「外から」みて得る知識に対して、「中から」みた場合（キリスト者の視点からみた場合）の知識を問題にする。具体的には、①聖書のことばについてどう受け止め理解し生きてくことができるか、②聖歌や賛美歌を歌うことの意味は何か、③ミサに与（あずか）るといふことの意味は何か、等。</p> <p>資料の提供や質問等の情報ツールには Google Classroom を利用し、また適当な番組があれば NHK+を補助的な資料（ただし放映から1週間以内）として紹介・提示（リンク）する。</p> |
| 3. 講義「キリスト教学ⅠA」 | 2023.4～2025.3 | <p>学部共通科目選択科目。子ども教育学科1年次開講科目。</p> <p>キリスト教について「外から」みて得る知識の基本として、一般常識的なレベルを学ばせる。</p> <p>また修養会と連動しミサや祈ることの基本的意味（意義）についても理解させる。</p> <p>資料の提供や質問等の情報ツールには Google Classroom を利用し、また適当な番組があれば NHK+を補助的な資料（ただし放映から1週間以内）として紹介・提示（リンク）する。</p>   |
| 4. 講義「キリスト教学ⅠB」 | 2023.4～2025.3 | <p>学部共通科目選択科目。子ども教育学科1年次開講科目。</p> <p>キリスト教について「外から」みて得る知識の基本として、一般常識的なレベルを学ばせる。</p> <p>また修養会と連動しミサや祈ることの基本的意味（意義）についても理解させる。</p> <p>資料の提供や質問等の情報ツールには Google Classroom を利用し、また適当な番組があれば NHK+を補助的な資料（ただし放映から1週間以内）として紹介・提示（リンク）する。</p>   |
| 5. 講義「宗教と美術」    | 2006.4～現在     | <p>学部共通科目選択科目。全学科3年次開講科目。</p> <p>キリスト教を中心とした宗教と、美術との関わりについて、美術作品の鑑賞に終始することなく、むしろ自分に所与として与えられた感性・想像力などをくししつつ「自分で考える」ようにした。そのために、PowerPoint を毎回、活用した。また NHK の優れた番組の中から、考えるための資料を提供した。また同時にイコロジー（図像学）の初歩的な内容を入れて、東方キリスト教のアイコンについて学ぶことを通して、キリスト教における図像の役割の大きさを理解させた。さらに、図像をとおしての资格的認識が、人</p>  |

|   |               |   |
|---|---------------|---|
|   |               | <p>間において成立するということについて、人間の認識の構造を、生理学的・解釈学的・哲学的に学ばせた。</p> <p>公共放送をはじめ一般の番組で放映された番組のビデオ録画を活用した。</p> <p>資料の提供や質問等の情報ツールには Google Classroom を利用し、また適当な番組があれば NHK+を補助的な資料(ただし放映から1週間以内)として紹介・提示(リンク)する。</p>   |
| 6. 講義「キリスト教と教育」   | 2023.4～現在.    | <p>第二バチカン公会議「キリスト教教育に関する宣言」をおもに用い、キリスト教的視点でみた教育の考え方から、「教育とは何か」について深く掘り下げる。</p> <p>資料の提供や質問等の情報ツールには Google Classroom を利用し、また適当な番組があれば NHK+を補助的な資料(ただし放映から1週間以内)として紹介・提示(リンク)する。</p>   |
| 7. 「子ども発達総合演習Ⅰ」<br>「子ども発達総合演習Ⅱ」                             | 2023.4～2024.3 | <p>「子ども発達総合演習Ⅰ」「子ども発達総合演習Ⅱ」については、2023年度はゼミ生の研究テーマに合わせて宮口幸治『ケーキの切れない非行少年たち』(新潮社 2019年)を講読し、発達障害グレーゾーンの子どもたちと現代日本社会の問題について考察している。</p> <p>「子ども発達総合演習Ⅱ」については、2023年度はゼミ生の研究テーマに合わせて宮口幸治『ケーキの切れない非行少年たち』(新潮社 2019年)を講読し、発達障害グレーゾーンの子どもたちと現代日本社会の問題について考察している。</p> |
| 8. 「子ども発達総合演習Ⅲ」<br>「子ども発達総合演習Ⅳ」                             | 2021.4～2023.3 | <p>2021年度は、「キリスト教と障がい」をテーマに基本的な文献調査をした。</p> <p>2022年度は、「キリスト教と障害」について、論文作成の指導、および他の1名は、「クラシック・バレエにおける宗教の考察——歴史をふまえて」というテーマで、文献研究に続き論文指導をしている。</p> <p>2024年度は、日本社会の発達障害児への支援制度からこぼれ落ちる事例について調査・考察を進めた。</p>   |
| 9. 自主ゼミ (学生の自主的研究支援) 聖書研究会、ラテン語, ロシア語                       | 2022.4～現在.    | 2022-2023年度はロシア語に関心ある学生と文法習得をめざした。2022年度は聖書研究会をもった。[週1コマ]。2022年アドヴェント期間に、自主ゼミの学生および関心ある学生たちによって、ウクライナ支援 (UNICEF) の募金を集めた。   |
| 【それ以外のもの】<br>10. キリスト教学テキスト『キリスト教学概論—過越の生を生きる』(現代神学研究会) 第4版 | 2006          | カトリックの立場によるキリスト教学の教科書。  |
| 11. 東北大学ラテン語 I・II テキスト『ラテン語文法の基礎ノート』(私家版) 第2                | 2007          | ラテン語文法の解説書. 東北大学文学部および全学教育開講科目の教  |

|   |  |     |
|---|--|-----|
| 版 |  | 科書。 |
|---|--|-----|

(2) 過去5年間の研究業績

| I 研究活動  |          |                    |   |                 |                        |   |
|---|----------|--------------------|---|-----------------|------------------------|---|
| 著書・論文等の名称   | 単著<br>共著 | 発行または発表<br>の年月(西暦) | 発行所、発表雑誌<br>(巻・号数)等の名称                    | 共著者名<br>(共著の場合) | 編者名と当該執筆<br>者数(編著の場合)  | 該当頁数  |
| [著書]<br>[論文]<br>1. カトリック教会の典礼様式をめぐる人間学的考察                       | 単著       | 2024.3             | 『仙台白百合女子大学人間学<br>研究センター紀要』第 1 号<br>(2024) |                 |                        | 42-71 頁   |
| 2. 個に内在するキリストの検討——キリスト教的人間<br>学の基礎についての試論                       | 単著       | 2025.3             | 『仙台白百合女子大学人間学<br>研究センター紀要』第 2 号<br>(2025) |                 |                        | 20-32 頁   |
| [その他]<br>1. ウクライナ避難民の復活祭 ヴェリークデニのパス<br>ハ(復活祭)の早課「石巻でのウクライナの復活祭」 | 単著       | 2023.3             | 『みやぎ宗連報』(宮城県宗<br>教法人連絡協議会)49号             |                 |                        | 27-28 頁   |
| 2. インタビュー「今こそ平和を」～ウクライナでの戦争<br>をめぐって                            | 共著       | 2024.3             | 『みやぎ宗連報』(宮城県宗<br>教法人連絡協議会)50号(20          |                 |                        | 25-30 頁   |
| 【それ以外のもの】<br>1. 岩波キリスト教辞典                                       | 共著       | 2002.6             | 岩波書店                                      |                 | 大貫隆、宮本久雄、<br>名取四郎、百瀬文晃 | 2,2,17,49,51-<br>52,57,60-<br>61,126,145-<br>6,223,245,250,<br>266,317,317,<br>330,404,506, |

|                    |    |           |     |  |          |  |
|--------------------|----|-----------|-----|--|----------|--|
| 2. 新カトリック大事典 第2-4巻 | 共著 | 1998-2009 | 研究社 |  | 委員長:高柳俊一 | 527,541,556,<br>558-9,576,<br>654,707,710-1,<br>802,804,867,<br>884,910,929,<br>962,1032,1069,<br>1076,1102,1129<br>1222,1222,1231 |
|--------------------|----|-----------|-----|--|----------|--|

翻訳

| 翻訳書・翻訳論文等の名称       | 単訳<br>共訳 | 発行または発表<br>の年月(西暦) | 発行所、発表雑誌<br>(巻・号数)等の名称 | 共訳者名<br>(共訳の場合) | 監修者名と当該訳者<br>数(監修訳書の場合) | 該当頁数  |
|--------------------|----------|--------------------|------------------------|-----------------|-------------------------|---|
| 1. 『宣教のパラダイム転換(下)』 | 共訳       | 2001.3             | 新教出版社                  | 有村浩一、<br>矢口洋生、他 | 監修:鍋谷堯爾<br>14名          | 12章12-13項<br>「神学としての<br>宣教」「希望に満ちた行<br>動としての宣<br>教」396-426<br>頁 |

学術研究発表

| 発表テーマ  | 発表年月<br>(西暦) | 発表場所                      |
|--|--------------|---------------------------|
| 1. 「イコンの系譜——「父なる神」は書かれうるか」                             | 2021.8       | 東方キリスト教学会第21回例会(Zoom開催)   |
| 2. 「典礼様式 ritus とウクライナ避難民の支援——カトリックの司牧典礼の可能性と限界についての考察」 | 2023.3       | 日本基督教学会東北支部第57回大会(Zoom開催) |

|                                       |         |  |
|---------------------------------------|---------|--|
| 3. 「人間学とは何か——歴史・課題」                   | 2023.6  | 人間学研究センター「人間学研究プロジェクト」オープンセミナー第1回        |
| 4. 「人間学とは何か——方法論と課題」                  | 2023.7  | 人間学研究センター「人間学研究プロジェクト」オープンセミナー第2回        |
| 5. 「人間学研究と人間学教育」                      | 2023.12 | 人間学研究センター「人間学研究プロジェクト」オープンセミナー第3回        |
| 6. 連続講演① 現代の人間の「いのち」をめぐって(3/9)        | 2024.3  | 人間学研究センター「人間学研究プロジェクト」連続講演               |
| 7. 連続講演② キリストの復活を検討する(3/16)           |         | 〈復活〉体験をとおして学ぶキリスト教の基本——神は、わたしのいのち        |
| 8. 連続講演③ キリストの復活とわたしたち(3/23)          |         | において生きておられる                              |
| 8. 連続講演④ 新ためてこの世界に生きる(3/30)           |         |  |
| 9. 「人類はどう生きるか— 〈復活〉によって拓かれるキリスト教的人間観」 | 2025.3  | カトリック研究所 2024 年度第3回研究会                   |
| 10. 「内在するキリスト」について——教理の意味の共有はいかにして可能か | 2025.6  | 日本カトリック大学キリスト教文化研究所協議会 2025 年度第 37 回研究報告 |

| II 所属学会       |   |          |
|---------------|---|----------|
| 学会名           | 役職  | 入会年月(西暦) |
| 1. 日本カトリック神学会 | 学会幹事(2003.6~8 期目)<br>学会賞審査委員(2020.4~2022) | 1991     |
| 2. 日本基督教学会    |   | 1995     |
| 3. 東方キリスト教学会  |   | 2001     |
| 4. 日本宣教学会     |   | 2005     |

| III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間) |              |                        |                       |         |
|-------------------------|--------------|------------------------|-----------------------|---------|
| 助成機関名                   | 助成を受けた年度(西暦) | 助成プログラム                | 研究テーマ                 | 助成金額(円) |
| 仙台白百合女子大学人間学研究センター      | 2023         | 仙台白百合女子大学人間学研究センター研究助成 | 人間学研究プロジェクト(人間学の基本研究) | 305,000 |

### 3. 特記事項

|               |                        |
|---------------|------------------------|
| (非常勤講師)       |                        |
| 1. 東北大学(文学部)  | 「キリスト教史」担当(2018.10~現在) |
| 2. 東北大学(全学教育) | 「ラテン語Ⅰ」担当(1996.4~現在)   |
| 3. 東北大学(全学教育) | 「ラテン語Ⅱ」担当(1996.4~現在)   |

4. 東北大学（文学部） 「ラテン語（初級）」前期担当（2011.4～現在）
5. 東北大学（文学部） 「ラテン語（初級）」後期担当（2004.4～2006.3 および 2010.4～現在）
6. 東北大学（文学部） 「ラテン語（中級）」前期担当（2024.4～現在）

（講演会・研修会等）

1. 講演「現代のニーズに応じて建学の精神を生かす教育——仙台白百合女子大学の 新カリキュラム改革を中心に」於・仙台白百合学園（2016.3.28）
2. 出張講座「死と生の人間学——キリスト教的視点に基づいて」於：盛岡白百合学園高等学校、（2016.10.17）
3. 出張講座「聖書の目的別学び方」於・郡山ザベリオ学園中学校（2023.9.20）

（社会的活動）

1. 東北臨床宗教師会 副会長（2018.10～2021.9）
2. ロシアのウクライナ侵攻から2年の祈り—— 虐げられ亡くなった人々とウクライナの復活のために ——（2024.2.24）於・本学
3. ウクライナ避難民のための復活祭（ウクライナ語・日本語による祈り）（2022.4, 2023.4, 2024.5, 2025.4 計4回）於・石巻栄光教会
4. カトリック研究所主催「ロシアのウクライナ侵攻3年の祈り ——ウクライナ、ガザ、戦禍で虐げられ亡くなった人々のために ——（2025.2.24）於・カトリック元寺小路教会（カトリック仙台司教区カテドラル） 司式：イグナシオ・マルチネス神父 先唱：宮崎 正美  
[https://sendai-shirayuri.ac.jp/event/event20250204\\_01/](https://sendai-shirayuri.ac.jp/event/event20250204_01/)

（大学の管理運営上の実績）

1. 仙台白百合女子大学 人間発達研究センター長（2018.4～2024.3）
2. 仙台白百合女子大学 カトリック研究所長（2024.4～現在）

## 自己点検表

### 1. 教員個別表

|                           |                         |  |
|---------------------------|-------------------------|--|
| フリガナ シケ マサヒロ<br>氏 名 四家 昌博 | 職 名 准教授<br>人間学部 子ども教育学科 | 取 得 学 位 博士(芸術学)<br>(大学名) 日本大学大学院<br>(取得年月) 2019年3月 |
|---------------------------|-------------------------|--|

### 2. 教育・研究業績表

#### (1) 過去5年間の教育業績

| 教育実践上の主な業績                                     | 年月(西暦)                  | 概 要  |
|--|-------------------------|--|
| 福島県立高等学校の常勤講師(芸術・音楽科)として勤務し、授業や部活動等で音楽教育を実践した。 | 2004. 4<br>～<br>2008. 3 | <p>授業として「音楽Ⅰ」、「音楽Ⅱ」、「音楽Ⅲ」、「総合的な学習の時間(ミュージック講座)(講座別学習)」、「保育音楽」を担当し、生徒の個別能力に合わせた、音楽能力の向上を図る授業を実践した。</p> <p>また、福島県高等学校教育研究会音楽部会、福島県高等学校音楽連盟、福島県吹奏楽連盟に所属・加盟し、高等学校における音楽教育の発展に努めた。とくに和楽器指導のための箏、三味線の演奏法、指導法を定期的に研修会に参加し地区教員とともに研究した。</p> <p>部活動「音楽部」の顧問を務め、学内発表会や、学校行事、地域行事での演奏、地域施設での演奏をはじめ、吹奏楽コンクールやアンサンブルコンテストなどに参加し、発表の機会を設け、音楽活動での地域参加を推進し、生徒の自主的、意欲的な活動を牽引した。</p> <p>「総合的な学習の時間(ミュージック講座)」では、「音楽ができること」を考える学習を目指し、グループでの歌唱、ピアノ連弾、バンド演奏、作詞・作曲など様々な音楽活動を体験し、また知的障がい者入所更生施設への訪問演奏を通じて、利用者とのコミュニケーションが取れる演奏発表を実践し、新聞に掲載されるなど、好評を得た。</p> <p>2006年度からの学科改編に伴い、教育課程委員会に芸術科主任として携わり、保育・幼児教育系進学者のための学校設定科目「保育音楽」、「造形美術」、「総合芸術(音楽・美術)」を立ち上げ、カリキュラムを構築し、授業を実践した。</p> |

|   |                   |   |
|---|-------------------|---|
| <p>本学において、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭養成養成課程におけるピアノの授業のコーディネートを行った。</p>  | <p>2008. 4～現在</p> | <p>本学の保育士、幼稚園教諭、小学校教諭養成課程におけるピアノ関連科目「ピアノ入門 A・B」、「ピアノ I A・B」、「ピアノ II」のコーディネート(レベル別のクラス分け、非常勤講師と連絡や共通理解、実技試験の手配等)を担当し、限られた設備や時間の中で、学生一人ひとりの能力に合わせた授業が行えるような環境づくりに努めている。</p>   |
| <p>「ピアノ入門 A・B」、「ピアノ I A・B」、「ピアノ II」の授業を実践した。</p>            | <p>2008 年～現在</p>  | <p>「ピアノ入門 A・B」、「ピアノ I A・B」、「ピアノ II」の授業を担当し、「ピアノ入門・BA」では、ピアノ初学者に対する効果的な指導法を研究しながら、個々の能力に合わせた授業を実践している。「ピアノ I A・B」、「ピアノ II」では、基礎的なピアノ奏法をもとに、保育実習や幼稚園教育実習、小学校教育実習やそれぞれの採用試験等に備え、弾き歌い能力や、音楽表現のさらなる向上を目的とした授業を行っている。<br/>         期末試験終了後には、学生へのアンケートを実施し、学生の実態を踏まえたうえで、授業改善やカリキュラムの再考に役立てている。</p>   |
| <p>音楽科目(ピアノ、楽典)、その他幼稚園教諭、保育士、小学校教諭の資格、免許取得のための授業等を実践した。</p> | <p>2010 年～現在</p>  | <p>2010 年度より、「基礎技能(音楽)」を、2012 年度より、「子どもと音楽」を担当し、保育・幼児教育、また小学校音楽教育に必要とされる音楽の基礎的知識・楽典や、手遊び・弾き歌いなどの音楽的能力、リコーダー、和楽器の基礎的な演奏の能力を養うための授業を行っている。<br/>         2018 年度より、「保育内容(表現(音楽))」の授業を担当し、領域「表現」の音楽に関する内容、指導法について、また「初等教科教育法(音楽)」を担当し、小学校音楽科における指導方法について、「保育表現技術」を担当し、音楽と音楽以外の分野での総合的な表現について、指導している。さらに「保育実習指導」、「初等教育実習の事前事後指導 A、B」についても担当している。</p> |
| <p>「子ども発達総合演習 I、II、III、IV」を担当し、「卒業発表演奏会」を開催している。</p>        | <p>2018 年～現在</p>  | <p>「子ども発達総合演習 I、II、III、IV」(ゼミ)では、教育・保育に関わる音楽について実技を中心に活動し、卒業時には「卒業発表演奏会」として、ピアノやその他楽器の合奏や独奏、合唱などでの演奏会を開催している。</p>   |
| <p>「ピアノ入門 A」のオリジナル教材を作成した。</p>                              | <p>2016 年～現在</p>  | <p>教育・保育現場でのピアノ演奏や弾き歌いについて、ピアノ初学者が効果的に学習することができるようオリジナルの教科書を授業担当者とともに作成した。2018 年度からはピアノ初学者が効果的に学習することができるよう研究結果に基づき改定を重ねている。</p>  |

(2) 過去5年間の研究業績

| I 研究活動  |          |                    |   |                                   |                       |          |
|---|----------|--------------------|---|-----------------------------------|-----------------------|----------|
| 著書・論文等の名称   | 単著<br>共著 | 発行または発表<br>の年月(西暦) | 発行所、発表雑誌<br>(巻・号数)等の名称                            | 共著者名<br>(共著の場合)                   | 編者名と当該執筆<br>者数(編著の場合) | 該当頁数     |
| [著書(CD)]<br>CD付き楽譜「ファーストポジションで奏でる<br>ヴァイオリン曲集15」の模範演奏CD(ピアノ伴奏)    | 共著       | 2003. 4            | ドレミ楽譜出版社  | 作曲者:ニコ<br>ル麻莉子<br>ヴァイオリン:<br>伝田正秀 |                       |          |
| [論文]<br>フランツ・リスト作曲「巡礼の年 第2年 イタリア」<br>における、音楽と他分野の芸術の関係            | 単著       | 2004. 1            | 日本大学大学院芸術学研究科<br>修士論文                             |                                   |                       |          |
| オペレッタ活動の教育的効果について<br>—2014 年度「保育内容(音楽とリズム)」における授<br>業実践から—        | 共著       | 2016. 3            | 仙台白百合女子大学紀要第 20 号                                 | 岩淵摂子                              |                       | p195～210 |
| 日本におけるピアノ教育受容史:ピアノ教育初期の<br>教育者と教材について                             | 単著       | 2018. 3            | 日本大学大学院芸術学研究科博<br>士後期課程研究詩『芸術・メディア・<br>コミュニケーション』 |                                   |                       |          |
| 日本のピアノ教育初期の教則本について—保育<br>者、小学校教員養成課程におけるピアノ初学者を<br>対象とした教材開発に向けて— | 単著       | 2018. 3            | 仙台白百合女子大学紀要第 22 号                                 |                                   |                       | p75～98   |
| 「保育者、小学校教員養成課程におけるピアノ初学<br>者へのピアノ指導—効果的なピアノ学習のための新<br>しい教材の開発—」   | 単著       | 2019. 3            | 博士論文  |                                   |                       |          |

|  |    |          |                                    |              |  |        |
|--|----|----------|------------------------------------|--------------|--|--------|
| 「保育内容(環境)とインクルーシブ保育に関する研究ー特別な支援を必要とする子どもの遊びの場面の事例からー」                    | 共著 | 2019. 3  | 仙台白百合女子大学人間発達研究センター紀要「人間の発達」第 13 号 | 佐野裕子         |  | p33~39 |
| 「保育内容(環境)(人間関係)とインクルーシブ保育に関する研究」   | 共著 | 2020. 3  | 仙台白百合女子大学人間発達研究センター紀要「人間の発達」第 14 号 | 佐野裕子         |  | p21~28 |
| 「保育内容(表現)とインクルーシブ保育に関する研究ー特別な支援を必要とする子どもの遊びの場面の事例からー」                    | 共著 | 2020. 3  | 仙台白百合女子大学人間発達研究センター紀要「人間の発達」第 14 号 | 佐野裕子         |  | p29~38 |
| 「アクティブ・ラーニングを中心とした「保育表現技術」の授業実践の事例Ⅰー身体・音楽・造形の総合的な表現活動を通した保育実践力の育成を目指してー」 | 共著 | 2020. 3  | 仙台白百合女子大学人間発達研究センター紀要「人間の発達」第 14 号 | 仁藤喜久子<br>千凡晋 |  | p39~52 |
| 「アクティブ・ラーニングを中心とした「保育表現技術」の授業実践の事例Ⅱー領域(表現)・保育内容(表現)と関連付けてー」(研究報告)        | 共著 | 2020. 10 | 日本児童学会「児童研究」第 99 巻                 | 仁藤喜久子<br>千凡晋 |  | p48~58 |
| 小学校教員養成課程における音楽科教育法に関する考察ー和楽器(箏)の指導についてー                                 | 単著 | 2021. 9  | 仙台白百合女子大学人間発達研究センター紀要「人間の発達」第 15 号 |              |  | p17~26 |
| 幼稚園教育実習指導の実践ー模擬保育を通した学生の学びー(実践報告)  | 共著 | 2022. 2  | 仙台白百合女子大学教職課程研究センター報第 1 号          | 千凡晋          |  | p23~30 |

|  |    |         |                               |                        |  |          |
|--|----|---------|-------------------------------|------------------------|--|----------|
| 保育中の歌について<br>—子どもの歌についてのアンケートから—             | 共著 | 2022. 3 | 聖和学園短期大学紀要 第 59 号             | 岩淵摂子<br>佐藤万利子<br>松村万里子 |  | p161~175 |
| 幼稚園教育実習指導の実践Ⅱ<br>—実習を通じた学生の学び—(実践報告)         | 共著 | 2023. 2 | 仙台白百合女子大学教職課程研<br>究センター報第 2 号 | 千凡晋                    |  | p13~17   |
| 幼小接続期における教育課程の日韓比較研究Ⅰ—<br>領域「表現」・「芸術経験」を中心に— | 共著 | 2024. 2 | 仙台白百合女子大学教職課程研<br>究センター報第 3 号 | 千凡晋                    |  | p3-10    |
| 音楽科における小大連携の試み                               | 共著 | 2024. 2 | 仙台白百合女子大学教職課程研<br>究センター報第 3 号 | 古川詠子                   |  | p17-22   |

| 翻訳           |          |                    |                        |                 |                         |      |
|--------------|----------|--------------------|------------------------|-----------------|-------------------------|------|
| 翻訳書・翻訳論文等の名称 | 単訳<br>共訳 | 発行または発表<br>の年月(西暦) | 発行所、発表雑誌<br>(巻・号数)等の名称 | 共訳者名<br>(共訳の場合) | 監修者名と当該訳者<br>数(監修訳書の場合) | 該当頁数 |
|              |          |                    |                        |                 |                         |      |

| 芸術、体育実技等の分野                       |                |         |          |
|-----------------------------------|----------------|---------|----------|
| 競技会・展覧会・演奏会の名称                    | 競技会・展覧会・演奏会の場所 | 開催年月    | 発表・展示内容等 |
| [演奏]<br>第 22 回日本ピアノ教育連盟ピアノオーディション | 保谷こもれびホール      | 2006. 3 | ピアノ独奏    |

|   |                          |          |                       |
|---|--------------------------|----------|-----------------------|
| E 部門本選(入賞(最高位))   |                          |          |                       |
| 「第2回 東京ピアノコンクール 本選」第2位  | 大田区民プラザ                  | 2011. 1  | ピアノ独奏                 |
| 「2012 アジア国際音楽コンクール」第1位<br>(ピアノ一般部門)                                   | 旧東京音楽学校音楽堂               | 2012. 8  | ピアノ独奏                 |
| 「第17回JILA 音楽コンクール」ピアノ部門<br>第2位(1位なし)                                  | 渋谷区文化総合センター大和田<br>さくらホール | 2012. 9  | ピアノ独奏                 |
| 「一緒に一歩コンサート」(富岡町3.11を語る会主催)   | いわき市文化センター大ホール           | 2016. 2  | ピアノ独奏                 |
| 東日本大震災追悼演奏(富岡町社会福祉協議会主催)  | 富岡町社会福祉協議会おだがいさまセンター     | 2016. 3  | ピアノ独奏                 |
| 「四家昌博ピアノリサイタル」<br>(富岡町、NPO 法人富岡町3・11を語る会 主催)                          | 星総合病院メグレズホール             | 2016. 9  | ピアノ独奏                 |
| 龍台寺施餓鬼会での演奏会  | せきのホール                   | 2016. 10 | フルート、クラリネット、ピアノによる演奏会 |
| 「ピアノの饗宴」  | 音楽の友ホール                  | 2016. 11 | ピアノ独奏                 |
| 「やすらぎコンサート13」<br>(いわき市立高坂小学校教育後援会主催)                                  | いわき市立高坂小学校               | 2016. 11 | ソプラノ、フルート、ピアノによる演奏会   |
| 「四家昌博 ピアノリサイタル」   | 松尾ホール<br>(スタインウェイサロン東京)  | 2017. 1  | ピアノ独奏                 |
| 江東区立八名川小学校「八名川ミュージックチャンネル」(歌とピアノのコンサート)                               | 江東区立八名川小学校               | 2017. 2  | 歌とピアノによるコンサート         |
| 「楊麗貞と門下生による Brilliant concert」  | カワイ表参道サロン「パウゼ」           | 2017. 3  | ピアノ独奏                 |
| 東日本大震災追悼演奏(富岡町社会福祉協議会主催)  | 富岡町社会福祉協議会               | 2017. 3  | ピアノ独奏                 |
| 「第33回 JPTA ピアノオーディション東北地区優秀賞記念コンサート」における招待演奏                          | 常盤木学園シュトラウスホール           | 2017. 3  | ピアノ独奏                 |
| ピアノと朗読によるコンサート<br>「富岡の空へ～帰郷の時～」                                       | 富岡町文化交流センター「学びの森」大ホール    | 2017・6   | 朗読とピアノ独奏によるコンサート      |
| Les Concerts des Étudiants de l'Académie Internationale d'Été de Nice | フランス・ニース地方音楽院コンサートホール    | 2017・8   | ピアノ独奏                 |

|  |                          |         |                     |
|--|--------------------------|---------|---------------------|
| (ニース国際音楽アカデミー 受講生選抜コンサート)                                  |                          |         |                     |
| 「ピアノの饗宴」   | 音楽の友ホール                  | 2017・11 | ピアノ独奏               |
| 「やすらぎコンサート14」<br>(いわき市立高坂小学校教育後援会主催)                       | いわき市立高坂小学校               | 2017・11 | ソプラノ、フルート、ピアノによる演奏会 |
| 朗読・朗読劇フェスタ～蔵で読む～ ドラマリーディング「空の村号」(劇中のピアノ演奏)                 | 創空間「富や蔵」                 | 2017・11 | 朗読劇中のピアノ演奏          |
| 演劇キャンプ in 富岡 報告会<br>演劇「空の村号」(劇中のピアノ)                       | 国立オリンピック記念青少年総合センター 大ホール | 2018・2  | 演劇中のピアノ独奏           |
| 「楊麗貞と門下生による Brilliant concert II」                          | カワイ表参道コンサートサロン「パウゼ」      | 2018・2  | ピアノ独奏               |
| 「やすらぎコンサート15」<br>(いわき市立高坂小学校教育後援会主催)                       | いわき市立高坂小学校               | 2019・2  | フルート、テノール、ピアノによる演奏会 |
| 「日本大学大学院芸術学研究科修了演奏会」                                       | 練馬文化センター                 | 2019・3  | ピアノ独奏               |
| 「やすらぎコンサート16」<br>(いわき市立高坂小学校教育後援会主催)                       | いわき市立高坂小学校               | 2019・10 | ソプラノ、テノール、ピアノによる演奏会 |
| 「仙台白百合女子大学 人間発達学科四家ゼミ卒業研究発表演奏会」(講師演奏)                      | 仙台白百合女子大学 講堂             | 2019・12 | ピアノ独奏、ピアノ連弾         |
| 「ランチタイムコンサート vol.115 お話と音楽で綴る くるみ割り人形」(上野学園 石橋メモリアルホール主催)  | 上野学園 石橋メモリアルホール          | 2020・11 | 2台ピアノによる演奏会         |
| 「仙台白百合女子大学 人間発達学科四家ゼミ卒業発表演奏会」(講師演奏)                        | 仙台白百合女子大学 講堂             | 2021・1  | ピアノ独奏、連弾、伴奏         |
| 「仙台白百合女子大学 人間発達学科四家ゼミ卒業発表演奏会」(講師演奏)                        | 仙台白百合女子大学 講堂             | 2022・1  | ピアノ独奏、連弾、伴奏         |
| 「富岡演劇祭 オープニングセレモニーでのピアノ演奏」(主催:NPO 法人 富岡町 3・11 を語る会 共催:富岡町) | 富岡町文化交流センター「学びの森」大ホール    | 2023.1  | ピアノ独奏、伴奏            |
| 「仙台白百合女子大学 人間発達学科四家ゼミ卒業発表演奏会」(講師演奏)                        | 仙台白百合女子大学 講堂             | 2023・1  | ピアノ独奏、伴奏など          |

|  |                   |         |                    |
|--|-------------------|---------|--------------------|
| 「いわき市立高坂小学校 体育館落成記念やすらぎコンサート」(いわき市立高坂小学校教育後援会主催) | いわき市立高坂小学校        | 2023・2  | ピアノ独奏, 伴奏          |
| 郡山ザベリオ学園「音楽を楽しもう」講座とミニコンサート                      | 郡山ザベリオ学園          | 2023.6  | ピアノ独奏              |
| 仙台白百合学園中・高学園祭での小学校合唱クラブとの共演                      | 仙台白百合学園レジナパースホール  | 2023.9  | ピアノ伴奏, 独奏          |
| 仙台白百合女子大学第 2 回ランチタイムコンサート「ファカルティコンサート」           | 仙台白百合女子大学講堂       | 2023.11 | ピアノ独奏, 伴奏          |
| いわき市立高坂小学校「やすらぎコンサート」                            | いわき市立高坂小学校        | 2023.12 | フルート, ピアノによる演奏会    |
| 仙台白百合女子大学第 3 回ランチタイムコンサート「クリスマスコンサート」            | 仙台白百合女子大学講堂       | 2023.12 | ピアノ伴奏              |
| 「仙台白百合女子大学 人間発達学科四家ゼミ卒業発表演奏会」(講師演奏)              | 仙台白百合女子大学講堂       | 2024.1  | ピアノ独奏, 伴奏など        |
| 4 人のピアニストによるプレゼンコンサート                            | 宮城野区文化センター パトナホール | 2024.3  | ピアノ独奏              |
| カンタービ麗会コンサート-楊麗貞先生と門下生による-                       | 加賀町ホール            | 2024.3  | ピアノ独奏              |
| いわき市立高坂小学校「やすらぎコンサート」                            | いわき市立高坂小学校        | 2024.12 | フルート、ピアノ、ハープによる演奏会 |
| フルート・コンサートと音楽療法のワークショップ                          | 仙台白百合女子大学講堂       | 2025.1  | フルートコンサートでのピアノ伴奏   |
| 「仙台白百合女子大学 人間発達学科四家ゼミ卒業発表演奏会」(講師演奏)              | 仙台白百合女子大学講堂       | 2025.2  | ピアノ独奏, 伴奏など        |

| 学術研究発表  |          |                                       |
|---|----------|---------------------------------------|
| 発表テーマ   | 発表年月(西暦) | 発表場所                                  |
| 福島県高等学校教育研究会音楽部会: 研究発表「和楽器指導のための、箏曲演奏の実践(沢井忠夫作曲:「つち人形」、「花筏」等の演奏)」(福島県高等学校教育研究会音楽部会相双支部共同研究発表) | 2006. 6  | 福島県高等学校教育研究会音楽部会会場(福島県立福島商業高等学校、あづま荘) |

|  |         |   |
|--|---------|---|
| 本学のピアノ指導における課題と展望<br>～カリキュラムの見直しと教育実習アンケートの結果から～                       | 2013. 6 | 全国大学音楽教育学会平成 25 年度東北地区学会(仙台市シルバ<br>ーセンター) |
| 保育者、小学校教諭養成課程における効果的なピアノ指導について   | 2016. 6 | 全国大学音楽教育学会平成 28 年度東北地区学会(青森明の星短<br>期大学)   |
| 学生主導による表現活動を中心とした授業構成の事例<br>—仙台白百合女子大学「保育表現技術」授業実践—                    | 2019. 3 | 日本保育者養成教育学会 第3回研究大会                       |
| 保育者、小学校教員養成校における連弾学習に適した楽曲の考察<br>～中田喜直の連弾曲に焦点を当てて～                     | 2019. 3 | 全国大学音楽教育学会平成 30 年度関東地区学会第 3 回研究会          |
| 学生主導による表現活動を中心とした授業構成の事例Ⅱ—領域表現(音楽・身<br>体・造形)と関連付けて—                    | 2020. 3 | 日本保育者養成教育学会 第4回研究大会                       |
| 保育現場でのピアノの活用—保育内容(表現)の視点から—  | 2020. 3 | 日本保育者養成教育学会 第4回研究大会                       |
| 保育者養成校における領域「表現」の遠隔授業の取り組み<br>—ピアノと造形関連の実技系授業の事例—                      | 2021・3  | 日本保育者養成教育学会 第5回研究大会                       |
| 幼児教育・保育の現場で活用できる総合的な表現活動のプログラムの開発に向<br>けて<br>—授業実践と保育者を対象とするアンケートを通して— | 2021・3  | 日本保育者養成教育学会 第5回研究大会                       |
| 保育実践力の向上を目指した授業「保育表現技術」の実践<br>—実習前後の発表会の成果を比較して—                       | 2021・3  | 日本児童学会令和2年度研究集会                           |
| 日本における幼少年期の芸術表現遊び・教育の実態調査  | 2023・2  | 2022 年度 仙台白百合女子大学人間発達研究センター研究会            |
| 保育者、教員養成課程におけるハープを用いた音楽活動の実践   | 2024.3  | 日本児童学会令和5年度 研究集会                          |

| Ⅱ 所属学会     |   |          |
|------------|---|----------|
| 学会名        | 役職  | 入会年月(西暦) |
| 全国大学音楽教育学会 | 全国大会実行委員(2011 年度)<br>東北地区学会研究大会事務局(2013 年度)<br>第 34 回全国大会実行委員(2017、2018 年度) | 2008. 5  |
| 日本ピアノ教育連盟  | 東北支部選挙管理委員(2017 年度)<br>東北支部運営委員(2018 年度～)                                   | 2008. 5  |

|             |  |          |
|-------------|--|----------|
| 日本音楽教育学会    |  | 2014. 5  |
| 日本保育者養成教育学会 |  | 2018. 11 |
| 日本児童学会      |  | 2020. 2  |

| Ⅲ 研究費の助成を受けた研究(過去5年間) |                  |                 |  |             |
|-----------------------|------------------|-----------------|--|-------------|
| 助成機関名                 | 助成を受けた年度<br>(西暦) | 助成プログラム         | 研究テーマ  | 助成金額<br>(円) |
| 仙台白百合女子大学 人間発達研究センター  | 2018年度           |                 | インクルーシブ保育における保育教材の研究-特別な配慮が必要な子どもの遊びの場面から-     | 50,932      |
|                       | 2019年度           |                 | インクルーシブ保育における保育教材の研究-特別な配慮が必要な子どもの遊びの場面から-     | 235,000     |
|                       | 2020年度           |                 | インクルーシブ保育における保育教材の研究-特別な配慮が必要な子どもの遊びの場面から-     | 219,000     |
|                       | 2022年度           |                 | 子どもを対象とする芸術表現遊び・教育プログラムの開発                     | 230,000     |
| (公財)日本教育公務員弘済会        | 2020年度           | 教育振興事業助成金       | 保育・幼児教育の現場で活用できる総合的な表現活動のプログラムの開発及びそのデータベースの作成 | 650,000     |
| (公財)仙台市市民文化事業団        | 2023年度           | 公演・展示活動助成(活動助成) | 4人のピアニストによるプレゼンコンサート                           | 80,000      |

### 3. 特記事項

|   |
|---|
| <p>全国保育士養成協議会 保育士資格試験 宮城県保育士試験(実技・音楽) 審査員(2011年度、2012年度、2014年度、2015、2016年度、2017年度、2018、2019年度、2020、2021、2022、2023、2024年度)</p> <p>日本ピアノ教育連盟第36回 JPTA ピアノ・オーディション東北地区予選 JII 部門審査員(2019年)</p> <p>日本ピアノ教育連盟東北支部主催「JPTA 東北 ピアノ・オーディション～動画でチャレンジ～」幼児・JI・A・C・E 部門審査員(2020年)</p> <p>仙台白百合女子大学 2020年度教職員合同研修会において「遠隔授業の取組事例」としてピアノ実技授業の事例を報告した。</p> <p>日本ピアノ教育連盟第38回 JPTA ピアノ・オーディション東北地区大会 D・E 部門審査副主任(2021年)</p> <p>日本ピアノ教育連盟東北支部主催「仙台国際音楽コンクールピアノ部門審査副委員長 海老彰子氏による《演奏とお話の会》」のナビゲーターを務める(2022年)</p> <p>日本ピアノ教育連盟第39回 JPTA ピアノ・オーディション東北地区大会幼児・JI 部門審査主任(2022年)</p> |
|---|

日本ピアノ教育連盟第 40 回 JPTA ピアノ・オーディション東北地区大会 J2部門審査副主任(2023 年)  
日本ピアノ教育連盟第 41 回 JPTA ピアノ・オーディション東北地区大会 A 部門審査主任(2024 年)

## 自己点検表

### 1. 教員個別表

|   |                                  |   |
|---|----------------------------------|---|
| フリガナ      チョン    ボンジン<br>氏            名            千    凡 晋 | 職    名    准教授<br>人間学部    子ども教育学科 | 取 得 学 位      教育学博士<br>(大学名) 東京学芸大学 (取得年月) 2013    年    3    月 |
|---|----------------------------------|---|

### 2. 教育・研究業績表

#### (1) 過去5年間の教育業績

| 教育実践上の主な業績   | 年月 (西暦)        | 概 要   |
|--|----------------|---|
| <b>【教育内容・方法の工夫】</b><br>①児童文化財「人形劇」に関する理解・実践力の向上&地域貢献活動としての実践 | 2021年4月<br>～現在 | 「子ども発達総合演習Ⅱ」「子ども発達総合演習Ⅲ」「子ども発達総合演習Ⅳ」では学生の共同製作・実践活動として人形劇の構想・製作・出前公演を実施している。当授業では児童文化財としての人形劇の理解を深め、学生間のアクティブラーニングを通してやりたい人形劇を構想し、台本作成、人形の製作、BGM や人形劇の背景など、人形劇を実施する上で必要なすべてを手作りするように指導している。人形劇を近隣の保育・教育施設に出向き、子どもの前で公演する活動を取り入れていることで、学びの成果を通して保育実践力の向上、地域貢献活動の実践を図っている。 |
| ②児童文化財「手作り絵本」に関する理解・実践力の向上                                   | 2019年4月<br>～現在 | 「子ども発達総合演習Ⅲ」「子ども発達総合演習Ⅳ」では学生の個人の制作活動として手作り絵本の制作を行い、絵本展示会を開いている。学生が作りたい絵本の内容、ねらいを立てた上で、様々な材料の特性を活かして製作できるように指導している。また、大学の図書館と連携をし、図書館のロビーで絵本展示会を開催しているが、学生自らが展示会の計画から準備、実践することを経験することができるように、指導、支援を行っている。  |
| ③アクティブラーニングによる学び合いの実践  | 2018年4月<br>～現在 | 幼稚園教諭免許資格取得に関わる「保育内容 (表現 (造形))」と小学校教員免許資格に関わる「初等教育教科法 (図画工作)」では、乳幼児から小学生まで、子ど   |

|                                     |                        |  |
|-------------------------------------|------------------------|--|
| <p>④ICT の活用を通じた学習効果の向上と学びの成果の共有</p> | <p>2018年4月<br/>～現在</p> | <p>もの造形表現を支援・指導するために必要な理論且つ実践的学びを行った。現行の保育所保育指針・幼稚園教育要領・学習指導要領に基づき、造形活動の目標と内容の理解を図りながら、子どもの発達特性を考慮し、子どもの造形活動を援助するための支援や指導法を身に付ける。両授業では、学生主体のアクティブラーニングを用い、個別発表やグループワークによる成果物「保育・教育現場で活用できる造形活動のアイデア集」と「図画工作教科書分析シート集」とを作成し、学生全員に配布した。授業の後半にて各自がテーマを決めて模擬保育・模擬授業を行うことで実践力の向上を図った。</p> <p>「子どもと造形 A」と「子どもと造形 B」とで、学生全員は製作した作品を用いて、各自のポートフォリオ (B4～A3判のファイル) の作成を手掛けている。「BAND」というアプリケーションを取り入れ、各授業で製作した作品を載せるようにすることで、学生同士で自由に且つ気軽に鑑賞できるように心かけた。特に子どもと造形 Aにて、作った作品を用いた動画作成も行わず、ICTの活用も取り入れている。また、ポートフォリオを作成する上で、製作した各作品に対する解説書(技法名、製作の手順、支援・指導上の類似点、異年齢児や他のテーマに応用できる活動)をまとめることで、体験した造形活動に対する学びの成果を深めた。15回目の授業では学生のポートフォリオの鑑賞会を通して振り返りの時間を設け、学生同士の学び合いを図っている。</p> |
| <p>⑤学びの成果を用いた地域貢献</p>               | <p>2018年4月<br/>～現在</p> | <p>「子どもと造形 A」ではグループワークにより段ボール箱を用いた遊具の製作に取り組んでいる。製作された遊具は毎年近所の保育・教育現場に寄贈している。寄贈しに行く際には製作にかかわった1年生の中、希望者を連れていき、子どもとの交流を図っている。学びの成果を子どもに還元することにより学生に自分らの学びの成果を地域貢献に活かせることを意識させる同時に、保育者養成課程と保育・教育現場との連携も充実させている。</p>   |

|   |                    |  |
|---|--------------------|--|
| <p>⑥SDGs と関連付けた実践力の向上と保育現場との連携</p>              |                    | <p>「子ども発達総合演習Ⅰ」では学生主導のアクティブラーニングを用い、食育やSDGs と造形活動を関連付けた実践テーマの設定、実践案の構想、事前準備を行い、近隣の協力園で実践を行っている。実践後の振り返りを行い、保育者としての実践力の向上を図っている。自らが構想した実践案を保育現場で実践することに対する学生の満足度と保育所からの評価が高い。</p>   |
| <p>⑦学生主導による総合的な表現力の向上</p>                       | <p>2018年4月～現在</p>  | <p>身体・音楽・造形担当の教員により実施している。学生の総合的な表現力の向上を目指し、学生主体により発表会を開催することを主な内容・方法としている。2019年度からは観客として近隣の保育所の子どもをお呼びし、実施した。発表会を準備した学生はもちろん観客として参加した子ども、保育所関係者からも好評で会った。その授業での成果を研究発表、論文などを通してまとめている。2020年度はコロナ禍の状況を踏まえ、総合的な表現力を高めるために、学生主体のプログラムの作成とその実践を行った。</p> |
| <p>⑧造形表現プログラムの考案と発信方法の工夫</p>                    | <p>2020年4月～現在</p>  | <p>人間発達センター研究助成により「家庭で親子が楽しめる造形表現・遊びの教材・プログラムの開発」をテーマに研究を実施した。その成果を「子ども発達総合演習Ⅰ～Ⅳ」にて学生指導に結び付けて実践している。2021年からは学生と一緒に構想・考案した造形表現活動プログラムを子ども、保護者、保育者向けに発信することを目的に YOUTUBE「造形遊びの遊び」を開設・運営し、関連コンテンツをアップデートしている。また、そのプログラムをまとめて紙面上の冊子を製作している。</p>           |
| <p>【教育方法・教育実践に関する発表・講演】</p> <p>①個人研究による成果発表</p> | <p>2019年～現在に至る</p> | <p>子どもの造形活動を支援・指導することに関わる教育実践（領域・指導法）をまとめ、関連学会における口頭発表と研究ノート、研究論文として投稿を行っている。（その詳細は業績に記載）</p>  |

|  |                 |   |
|--|-----------------|---|
| ②共同研究の成果発表   | 2019年～<br>現在に至る | 同学科の教員と共同研究を取り組み、音楽・身体・造形を合わせた総合的な表現活動の授業実践における研究発表と論文投稿を行った。また、同研究メンバーで外部の研究助成金（公益財団法人日本教育公務員弘済会奨励金）を受け、研究を実施した。その成果を学会で発表した。現在、その成果を論文として執筆中である。      |
| ③保育者を対象とする研修   | 2019年～<br>現在に至る | 上記の「④保育実践力の向上と保育現場との連携」に関連して協力している園の要望でその保育園の職員研修にて、保育所で実践できる造形活動に関する研修を年に1-2回程度実施している。また、2022年度は「宮城県子ども総合センター」の依頼で、県の幼児・児童関連の施設の職員を対象とする児童文化財の研修を担当した。 |
| ⑨4年制大学における韓国語教育の「Cultural Intelligence」としての意義とその取り組み | 2022年6月         | 4年制大学における韓国語講座の意義、実践方法について駐仙台韓国教育院が開催しているシンポジウムにて発表を行った。当発表をまとめて、本学の紀要第28号に掲載した。  |

(2) 過去5年間の研究業績

| I 研究活動  |          |                    |   |                 |                       |           |
|---|----------|--------------------|---|-----------------|-----------------------|-----------|
| 著書・論文等の名称                                     | 単著<br>共著 | 発行または発表<br>の年月（西暦） | 発行所、発表雑誌<br>（巻・号数）等の名称                    | 共著者名<br>（共著の場合） | 編者名と当該執筆<br>者数（編著の場合） | 該当頁数      |
| <b>【学位論文】</b>                                 |          |                    |   |                 |                       |           |
| 1. 初等学校における絵による心理診断事例研究                       | 単著       | 2001. 11           | 高麗大学教育大学院美術教育専攻修了論文（修士学位論文）               |                 |                       | A4版（99頁）  |
| 2. 日本と韓国における「学習指導要領」の変遷に関する比較研究－小学校「美術科」を中心に－ | 単著       | 2006. 3            | 東京学芸大学大学院教育学研究科美術教育専攻美術科教育コース修了論文（修士学位論文） |                 |                       | A4版（71頁）  |
| 3. 「韓国の初等教育における第1次教育課程『美術科』に関する研究－図画・工作・書の教育  | 単著       | 2013. 3            | 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科芸術系教育                  |                 |                       | A4版（415頁） |

|  |    |        |                           |          |             |             |
|--|----|--------|---------------------------|----------|-------------|-------------|
| に関する日韓比較を中心にー」   |    |        | 講座修了論文（博士学位論文）            |          |             |             |
| <b>【論文】</b><br>1. H. ガードナーのMI理論のアジアにおける受容と展開ー中国、韓国、フィリピンの比較分析（査読付き）            | 共著 | 2012.2 | 東京学芸大学紀要 総合教育科学系 I 第63集   | 渋谷英章、他   | 渋谷英章他（6名）   | 76～78、80～82 |
| 2. 韓国と日本との学習指導要領の比較からみた「毛筆による文字教育」（査読付き）                                       | 単著 | 2012.3 | 美術科教育学会『美術教育学』第33号        |          |             | 301～314     |
| 3. 神様の導き   | 単著 | 2020.3 | 仙台白百合女子大学カトリック研究所『論集』第24号 |          |             | 115～123     |
| 4. 保育実践力の育成を目指す授業内容・方法の研究ー食育と造形表現活動とを結び付けた実践を通してー（査読付き）                        | 単著 | 2020.9 | 人間発達研究センター紀要『人間の発達』第14号   |          |             | 53～65       |
| 5. アクティブラーニングを中心とした「保育表現技術」の授業実践の事例Ⅰー身体・音楽・造形の総合的な表現活動を通じた保育実践力の育成を目指してー（査読付き） | 共著 | 2020.9 | 人間発達研究センター紀要『人間の発達』第14号   | 仁藤喜久子、他  | 仁藤喜久子、他（3名） | 39～51       |
| 6. 自然環境を活かした遊びから芽生える子どもの自発的且つ自主的な造形表現・遊びの可能性ー山形県天童東幼稚園での事例を通してー（査読付き）          | 共著 | 2021.9 | 人間発達研究センター紀要『人間の発達』第15号   | 伊藤清華、千凡晋 |             | 37～45       |
| 7. 小学校教員養成における図画工作科の教材・指導法の研究Ⅰー粘土類を用いた授業実例を通してー（査読付き）                          | 単著 | 2022.3 | 大学美術教育学会『美術教育学研究』第54号     |          |             | 193～200     |
| 8. 共働き世帯の親子で取り組む造形表現・遊び  | 単著 | 2023・3 | 大学美術教育学会『美術教育学研究』第55号     |          |             | 209-216     |

|  |    |         |                                  |          |          |       |
|--|----|---------|----------------------------------|----------|----------|-------|
| <p>の活動の効果—活動前後のアンケート調査を通して—（査読付き）</p>  |    |         |                                  |          |          |       |
| <p>9. 幼小接続期における教育課程の日韓比較研究 I—領域「表現」・「芸術経験」を中心に—（査読付き）</p>                        | 共著 | 2024. 3 | 『仙台白百合女子大学教職課程研究センター報』第3号        | 千凡晋・四家昌博 | 千凡晋・四家昌博 | 3～10  |
| <p>10. 保育者養成課程における持続可能な開発のための教育(ESD)の試み—SDGsのGoal15と関連付けた造形表現活動の実践を通して(査読有り)</p> | 単著 | 2025. 3 | 仙台白百合女子大学『紀要』第29号                |          |          | 13-31 |
| <p><b>【研究ノート】</b></p>  |    |         |                                  |          |          |       |
| <p>1. 幼稚園・小学校における曼荼羅（マンドラ）模様を用いた自然物による造形遊び・表現の可能性</p>                            | 単著 | 2020. 3 | 全国大学造形美術教育教員養成協議会『大学造形美術教育研究』18号 |          |          | 44～47 |
| <p>2. 小学校教員養成における図画工作科の教材・指導法の研究の試み—紙粘土と情報機器（カメラ）を用いた授業事例を通して</p>                | 単著 | 2021. 3 | 全国大学造形美術教育教員養成協議会『大学造形美術教育研究』19号 |          |          | 46～49 |
| <p>3. 4年制大学における第2外国語（韓国語）教育の意義—韓国語の学習意欲の向上を目指した授業実践を通して（査読付き）</p>                | 単著 | 2024. 3 | 仙台白百合女子大学『紀要』第28号                |          |          | 51～68 |
| <p><b>【研究報告】</b></p>   |    |         |                                  |          |          |       |

|  |    |         |   |          |            |          |
|--|----|---------|---|----------|------------|----------|
| アクティブラーニングを中心とした「保育表現技術」の授業実践の事例Ⅱー領域（表現）・保育内容（表現）と関連付けてー（査読付き） | 共著 | 2020.10 | 日本児童学会『児童研究』第99巻                        | 四家昌博、他   | 四家昌博、他（3名） | 48～58    |
| <b>【実践報告】</b>  |    |         |   |          |            |          |
| 1. 保育所における食育と関連付けた領域（表現）の実践ー魚をテーマとした造形活動を中心にー                  | 単著 | 2020.3  | 全国大学造形美術教育教員養成協議会『大学造形美術教育研究』18号        |          |            | 48～51    |
| 2. 絵本を用いた国際理解の試みー講演会「ようこそ！韓国絵本の世界へ」を通してー                       | 単著 | 2022.2  | 『仙台白百合女子大学教職課程研究センター報』第1号               |          |            | 89～94    |
| 3. 幼稚園教育実習指導の実践ー模擬保育を通じた学生の学びー                                 | 共著 | 2022.2  | 『仙台白百合女子大学教職課程研究センター報』第1号               | 四家昌博、千凡晋 |            | 23～30    |
| 4. 幼稚園教育実習指導の実践Ⅱー実習を通じた学生の学びー                                  | 共著 | 2023.2  | 『仙台白百合女子大学教職課程研究センター報』第2号               | 千凡晋・四家昌博 |            | 13～18    |
| 5. 手作り人形劇を通じた保育実践力の育成と地域貢献活動としての可能性                            | 単著 | 2024.3  | 全国大学造形美術教育教員養成協議会『大学造形美術教育研究』22号<br>pp. |          |            | 30～33    |
| <b>【その他(資料集)】</b>  |    |         |   |          |            |          |
| 1. 四季を楽しむ創造的な表現活動・遊びの資料集                                       | 共著 | 2021.3  | 日本教育公務員弘済会「令和2年度日教弘奨励金助成研究」資料集          | 四家昌博・千凡晋 |            | A4版（45頁） |
| 2. 学生の学びの成果を生かした地域貢献の可能性ー手作り段ボール遊具による地域の子どもの触                  | 単著 | 2021.4  | 全国大学造形美術教育教員養成協議会『全美協メールマガ              |          |            | A4版（7頁）  |

|                                    |    |          |                             |  |  |                             |
|------------------------------------|----|----------|-----------------------------|--|--|-----------------------------|
| れ合いを通してー                           |    |          | ジン』第 43 号                   |  |  |                             |
| 3. わが家族の 2011 年 3 月 11 日から 15 日を語る | 共著 | 2021. 11 | 仙台白百合女子大学『東日本大震災の記憶』        |  |  | 115～116                     |
| 4. 親子で一緒に楽しめる造形表現・遊び               | 単著 | 2022. 2  | 「人間発達研究センター助成研究」成果資料集       |  |  | A4 版 (28 頁)                 |
| 5. 絵本『2 人の天使にあったボク』                | 共著 | 2024. 3  | リーブル出版社                     |  |  | 21. 5 × 26. 5 × 0. 7 (32 頁) |
| 6. 学習意欲の向上と異文化理科を基盤とした韓国語の授業実践ー    | 単著 | 2024. 7  | 2024 日本東北地域韓国語教育者シンポジウム 資料集 |  |  | 59-74                       |

| 翻訳  |          |                     |                         |   |                          |      |
|---|----------|---------------------|-------------------------|---|--------------------------|------|
| 翻訳書・翻訳論文等の名称  | 単訳<br>共訳 | 発行または発表<br>の年月 (西暦) | 発行所、発表雑誌<br>(巻・号数) 等の名称 | 共訳者名<br>(共訳の場合)                                 | 監修者名と当該訳者<br>数 (監修訳書の場合) | 該当頁数 |
| なし  |          |                     |                         |   |                          |      |
| 学術研究発表  |          |                     |                         |   |                          |      |
| 発表テーマ   |          |                     | 発表年月<br>(西暦)            | 発表場所  |                          |      |
| 1. 韓国と日本の毛筆による文字教育の比較研究ー学習指導要領を中心にー                             |          |                     | 2008. 8                 | 第 32 回 InSEA (国際美術教育学会) 世界大会 in 大阪 (単独・口頭発表)    |                          |      |
| 2. 小学校美術科教科書の比較研究ー韓国の第 1 次教育課程期のものと日本の昭和 26 年版学習指導要領期のものを中心としてー |          |                     | 2011. 9                 | 日本教育大学協会全国美術部門協議会第 50 回大学美術教育学会宮城大会 (単独・ポスター発表) |                          |      |

|  |          |                             |
|--|----------|-----------------------------|
| 3. 韓国の初等教育に於ける第1次教育課程「美術科」に関する研究－教科目標における韓・日・米の比較を中心に－   | 2013. 3  | 第35回美術科教育学会島根大会(単独・口頭発表)    |
| 4. Effects of the artistic activities on mental and physical health in the elderly: Preliminary survey report (口頭発表) | 2017. 6  | 第4回人間脳科学セミナー(単独・口頭発表)       |
| 5. Effects of the Artistic Activities on Mental and Physical Health in the Elderly                                   | 2018. 8  | 韓国心理学会第72回学術大会(共同・ポスター発表)   |
| 6. 芸術活動が高齢者の心身健康に及ぼす影響に関する調査   | 2018. 9  | 日本心理学科第82回大会(共同・ポスター発表)     |
| 7. 学生主導による表現活動の中心とした授業構成の事例  | 2019. 2  | 日本保育者養成教育学会第3回研究大会(共同・口頭発表) |
| 8. 学生主導による表現活動を中心とした授業構成の事例Ⅱ－領域表現(音楽・身体・造形)と関連付けて－   | 2020. 2  | 日本保育者養成教育学会第4回研究大会(共同・口頭発表) |
| 9. 保育者養成課程における保育内容(表現)の授業実践に関する一考察－造形表現における学生の自主的な学びを目指して－   | 2020. 2  | 日本保育者養成教育学会第4回研究大会(共同・口頭発表) |
| 10. 自然との関わりから芽生える自発的な表現活動の可能性－自然素材(土粘土)を用いた造形活動を中心に－   | 2020. 11 | 日本自然保育学会第5回大会(共同・口頭発表)      |
| 11. 保育者養成校における領域「表現」の遠隔授業の取り組み－ピアノと造形関連の実技系授業の事例－  | 2021. 3  | 日本保育者養成教育学会第5回研究大会(共同・口頭発表) |
| 12. 幼児教育・保育の現場で活用できる総合的な表現活動のプログラムの開   | 2021. 3  | 日本保育者養成教育学会第5回研究大会(共同・口頭発表) |

|   |               |   |
|---|---------------|---|
| <p>発に向けてー授業実践と保育者と対象とするアンケートを通してー</p>                         |               |   |
| <p>13. 保育実践力の向上を目指した授業「保育表現技術」の実践ー実習前後の発表会の成果を比較してー</p>       | 2021.3        | 日本児童学会令和2年度研究集会(共同・口頭発表)  |
| <p>14. 親子で行う造形表現・遊びがもたらす効果についてー活動前後のアンケート調査を通してー</p>          | 2021.3        | 日本児童学会令和2年度研究集会(単独・口頭発表)  |
| <p>15. 4年制大学における第2外国語(韓国語)教育の意義ー韓国語の学習意欲の向上を目指した授業実践を通してー</p> | 2022.9        | 2022 日本東北地域韓国語教育者シンポジウム(4名・口頭発表)<br>資料集(pp.76-111)<br><br>日本保育者養成教育学会第7回研究大会(単独・口頭発表) |
| <p>16. 保育者養成課程におけるESDの実践IーSDGsと造形活動を結び付けた実践を通してー</p>          | 2023.3        |   |
| <p>17. 保育者養成課程におけるESDの試みIIーSDGsと造形活動を結び付けた実践を通してー</p>         | 2024.3        | 日本保育者養成教育学会第8回研究大会(単独・口頭発表)   |
| <p><b>[作品出品]</b></p>  |               |   |
| <p>1. 「꽃이 피다(花が咲く)」の他、7点</p>                                  | 2009.12.1~6   | 異心圓 Vol.2-1<br>※アートホール招待展<br>※日韓交流基金の助成により開催  |
| <p>2. 「隠れん坊」II-2</p>  | 2015.10.21~27 | 「日韓国交正常化50周年記念」2015日韓美術交流展 in 仙台<br>(駐仙台大韓民国総領事館)<br>※大韓国外交部支援助成により開催                 |
| <p>3. 「숨바꼭질; 꼭 꼭 숨어라(隠れん坊)」III</p>                            | 2016.9.9~15   | 「韓日国交正常化50周年記念」2016韓日美術交流展 in 全州ー疎通ー(全北芸術会館)  |

|  |  |   |
|--|--|---|
| <p>4. 「숨바꼭질; 꼭 꼭 숨어라 (隠れん坊)」 IV</p> <p>5. 「아이 (愛・I・子ども)」 の他、6 点</p> <p>6. 「No title」 の他、8 点</p> <p>7. 「隠れん坊 2020: ‘UTC+9’」 の他、3 点</p> <p>8. 「隠れん坊 2021: ‘UTC+9’ 光」 の他、2 点</p> <p>9. 「Blessing」</p> <p>10. 「剥製された夏」 (F5 号 2 個)<br/>「隠された夏」 (F1 号 2 個)</p> | <p>2018. 1. 17～23</p> <p>2019. 2. 12～24</p> <p>2019. 6. 18～23</p> <p>2020. 10. 15～<br/>12. 9</p> <p>2021. 11. 27～<br/>12. 2</p> <p>2022. 3. 8～13</p> <p>2025. 3. 4～9</p> | <p>※全羅北道文化観光財団・(公財) 未来の東北博覧会記念国際交流基金の助成により開催</p> <p>Good works good life 展 (韓国・ギャラリーSUN)</p> <p>short short piece—仙台アーティストランプレイス小品展—<br/>(ギャラリーSARP)</p> <p>取っ替ゑ、引っ替ゑ、すり替ゑ展 (ギャラリーSARP)</p> <p>「2020 韓一日交流展 in 全州」—Across and Connect<br/>Endless— (ギャラリーSeohak)</p> <p>※韓国国民体育振興基金の「2020 年展示空間活性化支援事業」の助成により開催</p> <p>2021 年日韓美術交流展 in Sendai-TRUST- (東京エレクトロン<br/>ホール)</p> <p>※大韓国外交部支援助成により開催</p> <p>取っ替ゑ、引っ替ゑ、すり替ゑ展Ⅷ ((ギャラリーSARP)<br/>※ウクライナ支援チャリティー展示</p> <p>「取っ替ゑ、引っ替ゑ、すり替ゑ展Ⅺ」 ((ギャラリーSARP)</p> |
|--|--|---|

|                |           |                  |
|----------------|-----------|------------------|
| <p>II 所属学会</p> |           |                  |
| <p>学会名</p>     | <p>役職</p> | <p>入会年月 (西暦)</p> |

|  |  |
|--|--|
| 社団法人日本美術教育連合<br>美術科教育学会<br>大学美術教育学会<br>日本臨床美術学会<br>日本心理学会<br>日本保育者養成教育学科<br>全国大学造形美術教育教員養成協議会<br>日本老年社会科学会<br>韓国幼児教育学会 | (2006年～2008年)<br>(2006～2015年)<br>(2008～現在)<br>(2013～2022年)<br>(2018～2022年)<br>(2018～現在)<br>(2019～現在)<br>(2019～現在)<br>(2023～現在) |
|--|--|

| Ⅲ 研究費の助成を受けた研究（過去5年間） |                  |          |  |             |
|-----------------------|------------------|----------|--|-------------|
| 助成機関名                 | 助成を受けた年度<br>(西暦) | 助成プログラム  | 研究テーマ  | 助成金額<br>(円) |
| 公益財団法人 日本教育公務員弘済会     | 2020             | 日教弘本部奨励金 | 乳幼児教育の現場で活用できる総合的な活動のプログラムの開発及びそのデータベースの作成(共同研究)     | 650,000円    |
| 人間発達センター              | 2020             | 研究助成     | 家庭で親子が楽しめる造形表現・遊びの教材・プログラムの開発                        | 192,000円    |
|                       | 2021             | 研究助成     | 家庭で親子が楽しめる造形表現・遊びの教材・プログラムの開発（継続）                    | 128,800円    |
|                       | 2022             | 研究助成     | 日本における幼少年期の芸術表現遊び・教育の実態調査+                           | 188,900円    |
| 全国保育士養成協議会東北ブロック      | 2023             | 研究助成     | 保育者養成課程におけるESDの試み—SDGsと造形活動を結び付けた実践を通して—             | 100,000円    |
| 科学研究費基盤研究(C)          | 2024～2027        | 研究助成     | WHO24 時間行動ガイドラインと0～2歳児をもつ母親の育児ストレスとの関連:国際比較研究(研究分担者) |             |

### 3. 特記事項

|                |                 |
|----------------|-----------------|
| (非常勤講師)        |                 |
| 1. 東北学院大学非常勤講師 | (2015.4～2017.3) |
| 東北学院大学非常勤講師    | (2020.4～現在)     |

2. 東北福祉大学非常勤講師 (2017.9~2018.3)
3. 韓国教育院主催・子ども韓国語教室「ハングル学校宮城」非常勤講師 (2015.4~2017.3)
4. 東北福祉大学【アジア共同体に向けて】非常勤講師 (2019.11.27 / 2020.12.9 / 2021.11.24)
5. 東北福祉大学【ユーラシア共同体に向けて】非常勤講師 (2023.12.13/2022.12.7/2021.11.24/2020.12.5)  
(講演会・研修会)
1. 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師 (2015.5)
2. 宮城県警察学校専科韓国語講座 (2015.6)
3. 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師 (2016.2)
4. 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師 (2017.10)
5. 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師 (2018.8)
6. 東北管区警察本部 (2018.8)
7. 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師 (2019.2)
8. 台湾・高雄国立大学【亞洲共同體專題講】での講演：「座亞洲各國高齡人口問題和發展藝術活動之可能性」(2019.10)
9. 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師 (2020.1/2)
10. 明石南子どもの城保育園の職員研修 (2020.11)
11. 台湾・高雄国立大学【亞洲共同體專題講】での講演：「座亞洲各國高齡人口問題和發展藝術活動之可能性」(2020.11.25)
12. 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師 (2021.1/2)
13. 明石南子どもの城保育園の職員研修 (2回) (2021.1/2021.9)
14. 「ようこそ！韓国絵本の世界へ」講演会/企画及び司会・進行(2021.6/7/8/9/12/12) (主催：駐仙台大韓民国総領事館・仙台白百合女子大学)
15. 明石南子どもの城保育園の職員研修 (2022.1)
16. 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師 (2022.1/2)
17. 2022 日本東北地域韓国語教育者シンポジウムでの講演：「4年制大学における第2外国語(韓国語)教育の意義-韓国語の学習意欲の向上を目指した授業実践を通して」(2022.9.17)
18. 令和4年度児童文化普及事業「児童文化講座」(主催：宮城県子ども総合センター)の講師(2022.10.7:まなウエルみやぎ1・2研修室/10.21:まほろばホール大会議室)
19. 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師 (2023.2)
20. 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師 (2024.2)
21. 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師 (2025.2)

(公的文の翻訳)

宮城県警察本部依頼：市民・外国人対象の案内文の翻訳 (2016. 12)  
青森県警察本部依頼：市民・外国人対象の案内文の翻訳 (2017. 8)  
宮城県警察本部依頼：市民・外国人対象の案内文の翻訳 (2017. 12)  
宮城県警察本部依頼：市民・外国人対象の案内文の翻訳 (2018. 3)  
宮城県警察本部依頼：市民・外国人対象の案内文の翻訳 (2018. 12)  
宮城県警察本部依頼：市民・外国人対象の案内文の翻訳 (2019. 12)  
宮城県警察本部依頼：市民・外国人対象の案内文の翻訳 (2020. 2)  
宮城県警察本部依頼：市民・外国人対象の案内文の翻訳 (2021. 3)

(研究関連)

1. 東北大学加齢医学研究所研究員 (2017. 4～2018. 3) / 現在、分野研究員

研究テーマ：「芸術活動が高齢者の心身研究に及ぼす影響」、現在進行中。

2. 東北地域の韓国学のための研究メンバー (2018. 11～2020. 3)

- ・研究テーマ：日本東北地域内韓国学の基盤造成：災害と在日韓国人を中心に
- ・研究メンバー：東北大学を基盤施設とし、東北内の三つの大学の教員が研究メンバーとして参加
- ・韓国学振興事業研究助成金「海外韓国学種型事業」の助成金の選定

(研究助成による研究)

1. 【日教弘本部奨励金 (公益財団法人 日本教育公務員弘済会)】

研究テーマ：「乳幼児教育の現場で活用できる総合的な活動のプログラムの開発及びそのデータベースの作成」(共同研究)

研究メンバー：四家昌博・千凡晋・仁藤喜久子・大木葉子

2. 【人間発達センター研究助成】

- 1) 研究テーマ：「家庭で親子が楽しめる造形表現・遊びの教材・プログラムの開発—共働きの家族を対象に—」(単独研究) (2020)
- 2) 研究テーマ：「家庭で親子が楽しめる造形表現・遊びの教材・プログラムの開発—学生指導と ICT を活用した情報発信の可能性を探って—」(単独研究) (2021)
- 3) 研究テーマ：「子どもを対象とする芸術表現遊び・教育プログラムの開発」—日本における幼少年期の芸術表現遊び・教育の実態調査+— (共同研究) (2022)

3. 【全国保育士養成協議会東北ブロック 研究助成】(単独研究) (2023)

研究テーマ：保育者養成課程における ESD の試み—SDGs と造形活動を結び付けた実践を通して—

(国際交流)

1. 『『日本国交正常化 50 周年記念』2015 年日韓美術交流展 in 仙台』(駐仙台大韓民国総領事館助成事業選定)の企画・運営 (2015.9)
2. 『『日本国交正常化 50 周年記念』2016 年日韓美術交流展 in 全州』(全羅북도文化観光財団・(公財) 未来の東北博覧会記念国際交流基金の助成)の企画・運営 (2016.10)
3. 国際交流センター：本学と国際流をしている韓国大学との協定・韓国短期留学(誠信女子大学)のサポート (2019. 3.3~6)
4. 2019 年 ASEACCU 参加(韓国・Sogang Univ. 2019.9.20~23)
5. 人間発達学科と誠信女子大学幼児教育科との交流の企画・窓口・実行 (2019.3~現在)
6. 人間発達学科の海外教育・保育現場体験研修の企画・実行 (2020.9月に予定していたが、Covid19により2023年度に延期)
7. 韓日交流展示会「韓日交流展—交叉と連結」(韓国文化芸術連合会展示支援事業選定)/日本側作家代表及びシンポジウム企画、運営 (2020. 10. 15~12. 9)
8. 日韓交流展示会「2021 年日韓美術交流展」(駐仙台大韓民国総領事館助成事業選定)/展示会の企画・運営及び実行委員会の代表 (2021年11月27日~12月2日東京エレクトロンホールでの開催)
10. 「ようこそ!韓国絵本の世界へ」講演会(6月12日/7月10日/8月7日/9月11日/12月4日/12月/18日)  
(主催:駐仙台大韓民国総領事館・仙台白百合女子大学)
11. ボランティア団体「東北日韓友好交流連合会」の創立メンバー(顧問)(2022.4~2023.3)

(地域貢献)

1. 授業で製作した段ボール遊具を保育所「明石南子どもの城」に寄付(2019.1.29)
2. 「泉マルシェ 2019」に参加し、本学のブースに訪問した子どもたちにフェイス・ペインティングを行う。(2019.9.14)
3. 授業で製作した段ボール遊具を認定子ども園「とみや杜の橋子ども園」に寄贈(2019.12.19)
4. 授業で製作した段ボール遊具を「明石南子どもの城」「桂子どもの城」に寄贈(2020.2.9)
5. 子どもを対象として手作り人形劇の実演「明石南子どもの城」(2021.11.18)/「桂子どもの城」(2021.12.16)
6. 授業で製作した段ボール遊具を「アルシュ富谷子ども園」に寄贈(2022.5.16)
7. 授業で製作した段ボール遊具を「泉チェリー第2認定こども園」に寄贈(2022.12.15)
8. 子どもを対象として手作り人形劇の実演:「森のプーさん保育園」(2022.9.28)/「明石南子どもの城子ども園」(2022.10.12)/「泉第2チェリー子ども園」(2022.10.19)/「鶴ヶ丘マミー子ども園」(2022.11.2)
9. 授業で製作した段ボール遊具を「明石南子どもの城」に寄贈(2023.12.14)
10. 子ども・近隣の住民を対象として手作り人形劇の実演:「泉第2チェリー子ども園」(2023.7.21)/「児童館フェスタ」(2023.7.22)/白百合祭(2023.10.21)/「白百合ミニコンサート」(2023.10.26)/「鶴ヶ丘児童館」(2023.11.2)/「森のプーさん保育園」(2023.12.7)/「明石南子どもの城こども園」(2023.12.14)/「桂こどもの城こども園」(2024.1.12)/「仙台白百合学園幼稚園」(2024.1.19)/「ゆりっこひろば」(2024/1/26)
11. 石巻市日和幼稚園遺族会依頼により仙台白百合女子大学絵本制作プロジェクトチームを結成し、絵本『2人の天使にあったボク』(リーブル出版社、2024.3発行)を制作。

(その他)

1. (学科横断ゼミ構想) 2021年度「SPACゼミ」の学内協力メンバー(代表:菅原詩緒理先生)
2. (FD研修) 仙台白百合女子大学 2020年度教職員合同研修会において「遠隔授業の取組事例」として造形実技授業の事例を報告。
3. 宮城県大学における韓国人教員グループが結成され、メンバーとして活動(2023.6～現在)

## 自己点検表

### 1. 教員個別表

|                                   |                                  |   |
|-----------------------------------|----------------------------------|---|
| フリガナ    ロ コウショウ<br>氏    名    呂 光暁 | 職    名    准教授<br>人間学部    子ども教育学科 | 取得学位    博士(教育学)<br>(大学名)    筑波大学 (取得年月) 2017年3月 |
|-----------------------------------|----------------------------------|---|

### 2. 教育・研究業績表

#### (1) 過去5年間の教育業績

| 教育実践上の主な業績           | 年月(西暦)               | 概 要   |
|----------------------|----------------------|---|
| ①教育内容・方法の工夫(授業評価を含む) |                      |   |
| マルチメディア機器を活用した授業     | 2020年4月～             | 「ハエのいない町(1950)」の映像を視聴させることで、当時における授業活動の実際の様子を通して、初期社会科における問題解決学習に対する受講生の理解を深めた。   |
| アクティブラーニングを取り入れた授業   | 2020年4月～             | 典型的な授業実践を学習させた上で、思考力・判断力・表現力・問題解決能力の育成を図る社会科の指導方法を探究させ、実際に学習指導案を作成し、模擬授業に取り組みさせたことで、教育実技の向上を促進した。   |
| 成績評価の取り組み            | 2020年4月～             | 授業では、毎回「復習課題」を設定し、授業内容に対する理解・感想を書かせた。受講生の日々の成長を含めた学習評価と最終の総括的評価の両者を駆使し、各学生の実態に即した評価を行った。  |
| 学習支援の取り組み            | 2020年4月～<br>2020年4月～ | 「振り返りシート」で、毎回の授業における学生自身の考えを記録させて定期的に振り返らせることで、自ら課題を発見し解決していくような学習意識と習慣を身に付けさせた。<br>教科教育法の授業では、学習指導案の作成練習と模擬授業の実施を充実させるために、受講生が準備・練習する時間を十分に保障するように、学習指導要領の学びと連動させて、より早い段階からの模擬授業のテーマ決定、授業指導案の作成に着手させることで、より完成度の高い模擬授業の実施を促進した。 |
| ②作成した教科書、教材、参考書      |                      |   |
|                      | 2021年6月              | 新・教職課程演習第11巻 初等社会科教育, 第1章「Q4社会科の目標に示された公民としての資質・能力について述べなさい」第7章 「Q2地域の生産や販売の仕事と地域の安全を守る働き」の教材研究の視点について述べなさい」  |
|                      | 2024年4月              | 『社会科教育事典 第3版』第3部第2章「中国の動向」  |
|                      | 2024年4月              | 『Well-beingをめざす社会科教育 人権/平和/文化多様性/国際理解/環境・まちづくり』第4章3節「中国における国際理解教育の進展と課題」  |

|                     |  |  |
|---------------------|--|--|
| ③教育方法・教育実践に関する発表、講演 |  |  |
| ④その他教育活動上特記すべき事項    |  |  |
| なし                  |  |  |

(2) 過去5年間の研究業績

| I 研究活動   |          |                    |                        |                                  |                       |                  |
|--|----------|--------------------|------------------------|----------------------------------|-----------------------|------------------|
| 著書・論文等の名称  | 単著<br>共著 | 発行または発表<br>の年月(西暦) | 発行所、発表雑誌<br>(巻・号数)等の名称 | 共著者名<br>(共著の場合)                  | 編者名と当該執筆<br>者数(編著の場合) | 該当頁数             |
| 著書   |          |                    |                        |                                  |                       |                  |
| 『新・教職課程演習第11巻 初等社会科教育』, 第1章「Q4社会科の目標に示された公民としての資質・能力について述べなさい」<br>第7章「Q2地域の生産や販売の仕事と地域の安全を守る働きの教材研究の視点について述べなさい」 | 共著       | 2021.6             | 協同出版                   | 唐木清志・永田忠道編著,<br>呂光暁・他 26名        |                       | 17~19<br>149~151 |
| 『社会科教育事典 第3版』「中国の動向」   | 共著       | 2024.4             | ぎょうせい                  | 日本社会科教育学会編,<br>呂光暁、他 68名         |                       | 390~391          |
| 『Well-being をめざす社会科教育 人権/平和/文化多様性/国際理解/環境・まちづくり』   | 共著       | 2024.4             | 古今書院                   | 井田仁康監修、唐木清志、國分麻里、金玆辰編著、呂光暁、他 24名 |                       | 203~213          |
| 論文   |          |                    |                        |                                  |                       |                  |

|                                  |    |         |   |  |  |         |
|----------------------------------|----|---------|---|--|--|---------|
| 心理志向の経済教育論の展望—経済教育の課題を踏まえて—      | 単著 | 2020.5  | 白鷗大学教育学部『白鷗大学教育学部論集』第14巻第1号   |  |  | 193～218 |
| 日本における社会科教育研究の動向(2019年度)         | 単著 | 2020.12 | 日本社会科教育学会『社会科教育研究』第141号   |  |  | 84～95   |
| 中国のキリスト教と宗教の必要性について              | 単著 | 2021.3  | 仙台白百合女子大学カトリック研究所『論集』第25号   |  |  | 77～81   |
| 経済的思考の特質と育成方法—社会的認知と経済的社会化に着目して— | 単著 | 2021.3  | 仙台白百合女子大学『仙台白百合女子大学紀要』第25号  |  |  | 33～46   |
| モデルプラン3 職業選択(小学校社会科第3学年・第5学年)    | 単著 | 2021.4  | 日本公民教育学会 2017(平成29)年度～2019(平成31)年度基盤研究(B)『新科目「公共」を核とした公民教育を小中高等学校で効果的に推進するための調査研究研究成果報告書』 |  |  | 1頁      |
| モデルプラン15 金融の働き(小学校社会科第3学年・第5学年)  | 単著 | 2021.4  | 日本公民教育学会 2017(平成29)年度～2019(平成31)年度基盤研究(B)『新科目「公共」を核とした公民教育を小中高等学校で効果的に推進するための調査研究研究成果報告書』 |  |  | 1頁      |
| 大学の教職課程におけるICT活用の試み—社会科を中心に—     | 単著 | 2022.2  | 『仙台白百合女子大学教職課程研究センター報』第1号 仙台白百合女子大学教職課程研究センター   |  |  | 39～47   |
| 生活科のカリキュラム構造から見た素朴理論の可能性         | 単著 | 2023.2  | 『仙台白百合女子大学教職課程研究センター報』第2号 仙台白百合女子大学教職課程研究センター   |  |  | 3～12    |

|   |    |        |   |  |  |         |
|---|----|--------|---|--|--|---------|
| 多様性の尊重を意識した経済学習                         | 共著 | 2023.3 | 科学研究費補助金(基盤研究B)(課題番号:20H01670)<br>『18歳市民力を育成する社会科・公民科の系統的・総合的教育課程編成に関する研究報告書』 |  |  | 144~145 |
| 子どもの社会的な見方・考え方の形成を目指す単元開発—中学校の経済学習を中心に— | 単著 | 2023.5 | 白鷗大学教育学部『白鷗大学教育学部論集』<br>第17巻第1号   |  |  | 133~153 |
| 中国の義務教育における金融経済カリキュラムの構成と特徴             |    | 2025.3 | 仙台白百合女子大学『仙台白百合女子大学紀要』<br>第29号  |  |  | 33~47   |

| 翻訳                              |          |                    |                        |  |                         |      |
|---------------------------------|----------|--------------------|------------------------|--|-------------------------|------|
| 翻訳書・翻訳論文等の名称                    | 単訳<br>共訳 | 発行または発表<br>の年月(西暦) | 発行所、発表雑誌<br>(巻・号数)等の名称 | 共訳者名<br>(共訳の場合)                        | 監修者名と当該訳者<br>数(監修訳書の場合) | 該当頁数 |
| なし                              |          |                    |                        |  |                         |      |
| 学術研究発表                          |          |                    |                        |  |                         |      |
| 発表テーマ                           |          |                    | 発表年月(西暦)               | 発表場所                                   |                         |      |
| 子どもの社会認識の形成を目指す単元開発—中学校2年生を対象に— |          |                    | 2021年6月                | 日本公民教育学会第31回全国研究大会 於大阪教育大学<br>(zoom参加) |                         |      |

| II 所属学会   |                 |          |
|-----------|-----------------|----------|
| 学会名       | 役職              | 入会年月(西暦) |
| 日本社会科教育学会 | 事務局長、会長等選考委員会委員 | 2012年4月  |
| 中等社会科教育学会 | 会員              | 2012年4月  |
| 経済教育学会    | 会員              | 2012年4月  |
| 日本公民教育学会  | 理事、学会賞選定委員会     | 2013年4月  |
| 全国社会科教育学会 | 会員              | 2015年6月  |

|            |    |         |
|------------|----|---------|
| 筑波大学教育学会   | 会員 | 2018年2月 |
| 日本カリキュラム学会 | 会員 | 2018年8月 |
| 日本教師教育学会   | 会員 | 2018年8月 |

| Ⅲ 研究費の助成を受けた研究(過去5年間) |                  |            |   |             |
|-----------------------|------------------|------------|---|-------------|
| 助成機関名                 | 助成を受けた年度<br>(西暦) | 助成プログラム    | 研究テーマ                                   | 助成金額<br>(円) |
| 日本学術振興会               | 2019-2021        | 若手研究・代表    | 初等中等教育における問題基盤型の金融経済カリキュラムの開発—日中比較を中心に— | 4,680,000   |
| 日本学術振興会               | 2023-2027        | 基盤研究(B)・分担 | 東アジア的文脈をふまえたグローバル市民教育の教員研修プログラム日中韓共同開発  | 18,330,000  |
| 日本学術振興会               | 2024-2028        | 若手研究・代表    | 経済的思考を育成する教育方法論の開発—素朴理論から科学的理論へ—        | 4,290,000   |

### 3. 特記事項

|            |                    |
|------------|--------------------|
| 2015年9月26日 | 経済教育学会奨励賞受賞        |
| 2016年3月17日 | 筑波大学学長表彰受賞         |
| 2016年11月5日 | 日本社会科教育学会賞(論文部門)受賞 |
| 2017年3月24日 | 筑波大学人間総合科学研究科長賞受賞  |

## 自己点検表

### 1. 教員個別表

|                                    |                                 |  |
|------------------------------------|---------------------------------|--|
| フリガナ    サカバ ヒロコ<br>氏    名    坂場 寛子 | 職    名    講師<br>人間学部    子ども教育学科 | 取得学位                    博士(国際文化)<br>(大学名) 東北大学大学院    (取得年月) 2022 年 3 月 |
|------------------------------------|---------------------------------|--|

### 2. 教育・研究業績表

#### (1) 過去 5 年間の教育業績

| 教育実践上の主な業績   | 年月(西暦)      | 概 要  |
|--|-------------|--|
| 1. 英語の授業における ICT の活用   | 2021.4 - 現在 | 英語の授業において、Google Classroom, Google Form, QR コード、動画等を活用し、分かりやすさや学習動機づけに配慮した授業を行なっている。授業学生からの評価も良好である。   |
| 2. 英語の授業における教材作成   | 2021.4 - 現在 | プレゼンテーション用スライド、ワークシート、インタラクティブ PDF など多種類の教材を自作し、目的に応じて使い分けて英語の授業を実施している。スライドを作成する際は、視覚的に分かりやすいデザインを心がけ、ワークシートを作成する際には、受講学生が自ら考え、アクティブラーニング(ペアワークやグループワークを含め)を促すことを意識している。これらの教材を活用した授業では、受講学生は積極的に授業に参加し課題に取り組んでいる。また、授業学生からの評価も良好である。           |
| 3. 「子ども発達総合演習 I, II, III, IV」、「子ども教育総合演習 I, II, III, IV」におけるデザイン教育 | 2023.4 - 現在 | 「子ども発達総合演習 I, II, III, IV」、「子ども教育総合演習 I, II, III, IV」(ゼミ)では、「学びのためのデザイン研究」をテーマとし、保育・教育とデザインの関わりや、保育・教育分野におけるデザインの活用の可能性について、文献調査、デザイン制作、ディスカッションなど、学生が主体的に学び考える方法でゼミ活動を行っている。ゼミ生によるレポートやディスカッションの内容から、「デザイン」という新しい視点で物事を観察、考察する力が養われていることがうかがえる。 |
| 4. 英作文の授業における生成 AI の活用   | 2025.4 - 現在 | 学生の英作文に取り組むモチベーションとその能力を向上させるため、「英作文 II」の授業内ライティング活動に ChatGPT を取り入れ始めた。学生は、ChatGPT を用いて自分が書いた英文の日本語訳と文法の確認し、課題の提出前に自身で再考し英文を修正することができている。さらに、個別の指導を行うことにより、これまでより意欲的にライティングに取り組  |

|  |  |          |
|--|--|----------|
|  |  | む様子が伺える。 |
|--|--|----------|

(2) 過去5年間の研究業績

| I 研究活動  |          |                    |  |                 |                       |           |
|---|----------|--------------------|--|-----------------|-----------------------|-----------|
| 著書・論文等の名称   | 単著<br>共著 | 発行または発表<br>の年月(西暦) | 発行所、発表雑誌<br>(巻・号数)等の名称   | 共著者名<br>(共著の場合) | 編者名と当該執筆<br>者数(編著の場合) | 該当頁数      |
| <b>【学位論文】</b>   |          |                    |  |                 |                       |           |
| 1. 高大接続英語教育のための基本動詞 TAKE の研究—コーパス駆動型アプローチ—  | 単        | 2019. 3            | 東北大学大学院国際文化研究科応用言語学専攻修士論文(修士学位論文)  |                 |                       | 100頁(A4版) |
| 2. 英語基本動詞の実践的用法の視覚化と学習動機づけに関する研究  | 単        | 2022. 3            | 東北大学大学院国際文化研究科応用言語学専攻修士論文(博士学位論文)  |                 |                       | 132頁(A4版) |
| <b>【論文】</b>   |          |                    |  |                 |                       |           |
| 1 . Usage Patterns and Meanings of High-Frequency English Verbs: A Multi-Word Expression Approach to Japanese High School EFL Textbook Analysis | 共        | 2021. 7            | International Journal of Applied Linguistics and English Literature, 10(4) | 岡田毅             |                       | 116-130   |
| 2. 教育用インフォグラフィックスの制作ガイドライン構築に向けた基礎的研究—デザイン概念とプロセスに関する分野統合的テキスト分析  | 単        | 2021. 11           | 日本デザイン学会『日本デザイン学研究』第 68 巻, 2 号   |                 |                       | 59-68     |
| 3. 英語基本動詞学習のためのインフォグラフィックス教材 —動機づけモデルにもとづく制作・教育実践・評価—   | 単        | 2022. 1            | 日本英語英文学会『日本英語英文学』第 31 号  |                 |                       | 47-74     |
| <b>【その他】</b>  |          |                    |  |                 |                       |           |
| 1. 英語語彙指導におけるインフォグラフィックスの可能性 —take care of+目的語を例として—  | 単        | 2020. 1            | 大修館書店出版『英語教育』第 68 巻,11 号   |                 |                       | 66-67     |

| 翻訳           |          |                    |                        |                 |                         |      |
|--------------|----------|--------------------|------------------------|-----------------|-------------------------|------|
| 翻訳書・翻訳論文等の名称 | 単訳<br>共訳 | 発行または発表<br>の年月(西暦) | 発行所、発表雑誌<br>(巻・号数)等の名称 | 共訳者名<br>(共訳の場合) | 監修者名と当該訳者<br>数(監修訳書の場合) | 該当頁数 |
|              |          |                    |                        |                 |                         |      |

| 学術研究発表   |          |   |
|--|----------|---|
| 発表テーマ  | 発表年月(西暦) | 発表場所  |
| 1. 連語表現はどのように構成されるか -英語教育への応用に向けて-                           | 2019. 8  | 全国英語教育学会第 45 回弘前研究大会、弘前大学 (ポスター発表)  |
| 2. 英語話し言葉コーパスにおける基本動詞 TAKE を含む連語表現 -「意味のまとまり」に基づく体系的抽出方法の提案- | 2019. 10 | 英語コーパス学会第 45 回大会、高知県立大学 (口頭発表)  |
| 3. 英語教科書においてどのようにイラストが機能しているか? -日本の高校英語教科書に着目して-             | 2020. 2  | Thammasat University-Tohoku University-NIDA International Symposium on Japanese Studies 2020 :Harmonization of cultural studies and language studies、タマサート大学(バンコク) (国際シンポジウムにおける口頭発表) |

| II 所属学会  |    |          |
|----------|----|----------|
| 学会名      | 役職 | 入会年月(西暦) |
| 英語コーパス学会 | 会員 | 2018. 4  |
| 大学英語教育学会 | 会員 | 2019. 4  |
| 全国英語教育学会 | 会員 | 2019. 2  |
| 日本デザイン学会 | 会員 | 2020. 4  |
| 日本英語英文学会 | 会員 | 2021. 2  |

| III 研究費の助成を受けた研究(過去 5 年間) |                  |         |       |             |
|---------------------------|------------------|---------|-------|-------------|
| 助成機関名                     | 助成を受けた年度<br>(西暦) | 助成プログラム | 研究テーマ | 助成金額<br>(円) |
|                           |                  |         |       |             |

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|

### 3. 特記事項

#### 【非常勤講師・講師】

- ・宮城教育大学 全学教育「英語」(2021.4－2023.3)
- ・宮城教育大学「第二言語習得論」(2022.7－2023.3)
- ・特定非営利活動法人 学割 net 運営 まふまふ語学講座 英会話講師(2011.8－2013.5)

#### 【講演等】

- ・高校英語教師主催の英語学習意見交換会(英語教師学びの会)「基本動詞 TAKE の使用パターン 一連語表現の指導への応用」研究発表(2019.5)
- ・宮城県伊具高等学校 キャリアセミナー 講師(2023.3)

#### 【学内】

- ・学修支援センター主催の「英会話講座」(リメディアル教育)を担当した(2023年度)
- ・大学スクールバスのバスラッピングデザインコンテストで応募作品が教職員・学生の投票により選ばれ、新しいスクールバスのデザインを担当した(2023)
- ・子ども教育学科のInstagramアカウントを立ち上げ、アカウント運営を担当している。開設から1年でフォロワー数は300を超えた(2024.5-現在)

## 自己点検表

### 1. 教員個別表

|                             |                        |  |
|-----------------------------|------------------------|--|
| フリガナ まつよし しんいち<br>氏 名 松好 伸一 | 職 名 講師<br>人間学部 子ども教育学科 | 取得学位 教育学修士<br>(大学名)東北大学大学院 (取得年月) 2017年 3月 |
|-----------------------------|------------------------|--|

### 2. 教育・研究業績表

#### (1) 過去5年間の教育業績

| 教育実践上の主な業績             | 年月(西暦)   | 概 要                    |
|------------------------|----------|------------------------|
| コンパクト版保育者養成シリーズ 新版乳児保育 | 2018年3月  | 保育者養成課程「乳児保育(旧カリ)」の教科書 |
| よくわかるシリーズ 乳児保育Ⅰ        | 2020年3月  | 保育者養成課程「乳児保育Ⅰ」の教科書     |
| よくわかるシリーズ 乳児保育Ⅱ        | 2020年3月  | 保育者養成課程「乳児保育Ⅱ」の教科書     |
| よくわかるシリーズ 子ども家庭支援論     | 2020年3月  | 保育者養成課程「子ども家庭支援論」の教科書  |
| 幼児教育方法論                | 2022年3月  | 保育者養成課程「幼児教育方法論」の教科書   |
| 子どもの育ちと多様性に向き合う障害児保育   | 2024年3月  | 保育者養成課程「障害児保育演習」の教科書   |
| 保育内容 人間関係 理論から実践まで     | 2024年10月 | 保育者養成課程「保育内容人間関係」の教科書  |

#### (2) 過去5年間の研究業績

| I 研究活動                      |          |                    |                        |                 |                       |            |
|-----------------------------|----------|--------------------|------------------------|-----------------|-----------------------|------------|
| 著書・論文等の名称                   | 単著<br>共著 | 発行または発表<br>の年月(西暦) | 発行所、発表雑誌<br>(巻・号数)等の名称 | 共著者名<br>(共著の場合) | 編者名と当該執筆<br>者数(編著の場合) | 該当頁数       |
| 「森の幼稚園」が幼児の人間関係に及ぼす影響に関する研究 | 単著       | 2017年3月            | 小田原短期大学研究紀要 47号        |                 |                       | pp.230-235 |
| コンパクト版保育者養成シリーズ 新版乳児保育      | 共著       | 2018年3月            | 一藝社                    | 松好伸一 他<br>14名   |                       | pp.113-120 |

|   |    |          |                       |              |  |                              |
|---|----|----------|-----------------------|--------------|--|------------------------------|
| よくわかるシリーズ 乳児保育Ⅰ                             | 共著 | 2020年3月  | 一藝社                   | 松好伸一他<br>15名 |  | PP113-120                    |
| よくわかるシリーズ 乳児保育Ⅱ                             | 共著 | 2020年3月  | 一藝社                   | 松好伸一他<br>11名 |  | pp113-120                    |
| よくわかるシリーズ 子ども家庭支援論                          | 共著 | 2020年3月  | 一藝社                   | 松好伸一他<br>14名 |  | pp41-48                      |
| 「森の幼稚園」が領域「健康」において子どもの発達に及ぼす影響に関する研究        | 単著 | 2020年3月  | 専修大学北上福祉教育専門学校研究紀要第5号 |              |  | pp45-53                      |
| 「森の幼稚園」が領域「言葉」において子どもの発達に及ぼす影響に関する研究        | 単著 | 2020年3月  | 専修大学北上福祉教育専門学校研究紀要第5号 |              |  | pp54-62                      |
| 「森の幼稚園」が領域「環境」において子どもの発達に及ぼす影響に関する研究        | 共著 | 2020年3月  | 専修大学北上福祉教育専門学校研究紀要第5号 | 渡邊好美         |  | pp63-77 内<br>pp63-68,pp76-77 |
| コロナ禍における保育者養成校の在り方について                      | 単著 | 2021年3月  | 専修大学北上福祉教育専門学校研究紀要第6号 |              |  | pp28-47                      |
| 幼児教育方法論                                     | 共著 | 2022年3月  | 一藝社                   | 松好伸一他<br>14名 |  | pp49-56                      |
| 子どもの形成環境と「森の幼稚園」をめぐる一考察<br>2 園環境が与える子どもへの影響 | 単著 | 2023年3月  | 専修大学北上福祉教育専門学校研究紀要7号  |              |  | pp87-99                      |
| 子どもの育ちと多様性に向き合う障害児保育                        | 共著 | 2024年3月  | みらい                   | 松好伸一他<br>20名 |  | pp168-177                    |
| 保育内容人間関係 理論から実践まで                           | 共著 | 2024年10月 | 講談社                   | 松好伸一他<br>17名 |  | Pp124-133                    |

| 翻訳           |          |                    |                        |                 |                         |      |
|--------------|----------|--------------------|------------------------|-----------------|-------------------------|------|
| 翻訳書・翻訳論文等の名称 | 単訳<br>共訳 | 発行または発表<br>の年月(西暦) | 発行所、発表雑誌<br>(巻・号数)等の名称 | 共訳者名<br>(共訳の場合) | 監修者名と当該訳者<br>数(監修訳書の場合) | 該当頁数 |
|              |          |                    |                        |                 |                         |      |

| 学術研究発表                               |          |                 |
|--------------------------------------|----------|-----------------|
| 発表テーマ                                | 発表年月(西暦) | 発表場所            |
| 「森の幼稚園」が子どもの発達に及ぼす影響に関する研究           | 2017年3月  | 日本発達心理学会第28回大会  |
| 「森の幼稚園」が領域「健康」において子どもの発達に及ぼす影響に関する研究 | 2018年3月  | 日本発達心理学会第29回大会  |
| 「森の幼稚園」が領域「言葉」において子どもの発達に及ぼす影響に関する研究 | 2019年3月  | 日本発達心理学会第30回大会  |
| フォーラム「森の幼稚園」自主シンポジウム 話題提供            | 2019年3月  | 日本発達支援り学会第30回大会 |

| II 所属学会   |                          |  |
|---|--------------------------|--|
| 学会名   | 役職                       | 入会年月(西暦)                                 |
| 日本発達心理学会<br>日本自然保育学会<br>日本保育者養成教育学会<br>日本発達支援学会 | 監事(2019~3期目)・広報委員(2023~) | 2014年3月<br>2016年9月<br>2017年3月<br>2019年4月 |

| III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間) |                  |         |       |             |
|-------------------------|------------------|---------|-------|-------------|
| 助成機関名                   | 助成を受けた年度<br>(西暦) | 助成プログラム | 研究テーマ | 助成金額<br>(円) |
|                         |                  |         |       |             |

### 3. 特記事項

小田原短期大学通信課程 非常勤講師(保育内容言葉、保育内容環境)((2016年4月～2017年3月)

東京福祉大学通信課程 非常勤講師(幼児教育)(2017年4月～2020年3月)

BTEC 認定チャイルドマインダー講師(仙台ヒューマンアカデミー)(2017年4月から2018年3月)

近畿大学豊岡短期大学通信教育部 非常勤講師(保育内容人間関係、保育内容健康、保育内容環境、乳児保育、乳児保育Ⅱ、健康(指導法)、環境(指導法)、人間関係(指導法)、保育原理、障害児保育、教育実習事前事後指導)(2017年7月～)

石巻専修大学人間学部人間教育学科 特命教授(保育内容人間関係、幼児と人間関係、保育者論、乳児保育Ⅰ、乳児保育Ⅱ)(2018年4月～2022年3月)

岩手県保育士等キャリアアップ研修 幼児期教育(2018年8月)

岩手県保育士等キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援(2018年9月)

盛岡医療福祉専門学校 非常勤講師(2018年7月～継続中)(乳児保育、障害児保育)

宮城県高齢者活躍人材育成事業 富谷市育児支援講習(2018年9月)

宮城県高齢者活躍人材育成事業 柴田町育児支援講習(2018年10月)

岩手県保育士等キャリアアップ研修 幼児教育(2019年2月)

岩手県保育士等キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援(2019年3月)

宮城学院女子大学 非常勤講師(実習事前指導・巡回指導)(2019年4月～2020年3月)

専修大学北上福祉教育専門学校 非常勤講師(保育内容環境、幼児と環境、乳児保育Ⅱ)(2019年4月～12月)

岩手県保育士等キャリアアップ研修 幼児教育(2019年8月)

岩手県保育士等キャリアアップ研修 乳児保育(2019年9月)

日本発達支援学会 第1回大会 運営委員(2019年10月)

宮城県高齢者活躍人材育成事業 仙台市育児支援講習(2019年11月)

学校法人北上学園 幼保連携型認定こども園アドバイザー(2019年4月～2022年3月)

姫路大学通信教育課程 非常勤講師(教育実習事前事後指導)(2020年4月から2021年3月)

専修大学北上福祉教育専門学校 特別教諭(専任)(保育内容環境、幼児と環境、教育課程・教育方法論、子育て支援)(2020年1月～2022年3月)

日本コミュニケーション障害学会学術大会 事務局 大会委員(2020年5月)

岩手県保育士等キャリアアップ研修(乳児保育)講師(2020年8月)

福島県保育士等キャリアアップ研修(幼児教育)講師(2020年8月)

岩手県北上市公立保育所スーパーバイザー(保育の進め方、新保育所保育指針について)(2020年8月)

福島県子育て支援員研修(南相馬市・会津若松市・白河市) 講師(2020年8月)

保育士等キャリアアップ研修(幼児教育・障害児保育) 講師(2020年10月)

日本発達支援学会 第2回大会 運営委員(2020年10月)

放課後児童支援員認定資格研修(宮城県登米市)(2021年1月)

福島県保育士等キャリアアップ研修(福島市・いわき市)子育て支援・保護者支援, マネジメント 講師(2021年2月・3月)

岩手県保育士等キャリアアップ研修(幼児教育・障害児保育)講師(2021年7月)

認定こども園専修大学北上幼稚園 スーパーバイザー(保育の進め方、子どもへの対応、職員間の連携)(2021年10月から12月)

石巻市子育て支援員研修 講師(2022年6月)

岩手県保育士等キャリアアップ研修(幼児教育) 講師 2022 年(7 月)

利府おおぞら幼稚園 自己肯定感に関する研究 講話(2022 年 8 月)

岩手県認定こども園 子育て支援 講話(2022 年 8 月～11 月計 4 回)

もりのなかま保育園 泉中央園 サイエンス+ 気になる子の保育について スーパーバイザー(2023 年 3 月)

もりのなかま保育園 泉中央園 サイエンス+ 障害が疑われる子, 気になる子の保育について 講話(2023 年 4 月)

富谷市 とみや子育て支援センター「パパと遊ぼう! 親子ふれあい遊び」講師(2023 年 7 月)

岩手県保育士等キャリアアップ研修 講師(2023 年 8 月子育て支援)

岩手県保育士等キャリアアップ研修 講師(2023 年 9 月 マネジメント, 幼児教育)

岩手県保育士等キャリアアップ研修 講師(2023 年 10 月 子育て支援)

仙台市泉区保健福祉センター 産学協働企画 参画・監修(松好ゼミ)(2023, 10～2024, 3)

専修大学北上福祉教育専門学校 非常勤講師(2022 年 4 月～)

北日本医療福祉専門学校 非常勤講師(2020 年 4 月～)

渡邊採種場・あおば青果による採種, 青果物流に関する企画 参画(プチぷよトマト栽培推進)

盛岡医療福祉スポーツ専門学校 非常勤講師(2018 年 7 月～)

富谷市子育て支援センター パパと遊ぼう講師(松好ゼミ)(2024 年 7 月)

松陵児童センター おひさま広場参画(松好ゼミ)2024 年 7 月)

GakkenLX 児童発達支援管理責任者・サービス管理責任者等 初任者研修 監修(2024 年 6 月)

富谷市公立保育所療育支援巡回研修会 助言指導(2024 年6月)

イビデンオアシス株式会社 障害者雇用アドバイザー(2024年10月～)

仙台市保育専門技術向上支援事業 スーパーバイザー(2025年4月～)

富谷市公立保育所療育支援巡回研修会 助言指導(2025年6月～)

大和町保育研究会 助言者(2024年2月～)

## 自己点検表

### 1. 教員個別表

|                          |                        |   |
|--------------------------|------------------------|---|
| フリガナ ッダ アヤコ<br>氏 名 津田 綾子 | 職 名 助教<br>人間学部 子ども教育学科 | 取 得 学 位 修 士<br>(大学名) 宮城教育大学(取得年月)2022 年 3 月 |
|--------------------------|------------------------|---|

### 2. 教育・研究業績表

#### (1) 過去 5 年間の教育業績

| 教育実践上の主な業績                  | 年月(西暦)      | 概 要  |
|-----------------------------|-------------|--|
| ・授業における ICT の活用             | 2022.4 - 現在 | UNIPA、Google Form、QRコード、動画等を活用し、ICT を用いた授業を行っている。受講学生からの評価も良好である。  |
| ・グループ学習の導入                  | 2022.4 - 現在 | 担当教員からの一方通行の授業ではなく、学生自身が深く考えることができる機会を作っている。受講学生を数名ごとのグループに分けることで、学生個人の取り組みや課題に対する意識付けの深化につながると考えている。グループ学習の後には、発表の機会を設けることで、学生は積極的に取り組むことができている。  |
| ・授業における教材作成                 | 2022.4 - 現在 | プレゼンテーション用スライド、ワークシート、PDF など多様な教材を自作し、目的に応じて使い分け授業を実施している。スライドを作成する際は、視覚的に分かりやすいデザインを心がけている。これらの教材を活用した授業では、受講学生は積極的に授業に参加し課題に取り組んでいる。また、受講学生からの評価も良好である。                                  |
| ・模擬保育の実施                    | 2023.4 - 現在 | 学外実習指導の授業では、保育場面を想定した実演を行っている。現場での勤務経験を活かし、どのように保育を作り上げているのか、保育者がどのような配慮をしているのかを受講学生が考えながら模擬保育に参加できるように模擬保育を行っている。模擬保育に参加するだけでなく、学生自身の気づきをグループ学習へ繋げ、受講学生全体に共有することで保育について理解が深まるような授業を行っている。 |
| ・リアクションペーパー(Google フォーム)の活用 | 2022.4 - 現在 | 毎回の授業の終わりにミニットペーパーを用いて、学生が授業内容について振り返り要点をまとめる時間を設けている。また感想や疑問については次回の授業内でフィードバックし、他の学生が感じた・考えたことを受講学生全体で共有し、より多角的に授業内容を振り返ることができるよう配慮した授業を行っている。受講学生からの評価も良好である。                           |

(2) 過去5年間の研究業績

| I 研究活動   |          |                    |                              |                       |                       |           |
|--|----------|--------------------|------------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------|
| 著書・論文等の名称  | 単著<br>共著 | 発行または発表<br>の年月(西暦) | 発行所、発表雑誌<br>(巻・号数)等の名称       | 共著者名<br>(共著の場合)       | 編者名と当該執筆<br>者数(編著の場合) | 該当頁数      |
| 園長のワークエンゲージメント<br>—こども誰でも通園制度をめぐる—   | 共        | 2025年5月            | 日本保育学会第78回大会                 | 香曾我部琢<br>他8名          |                       |           |
| 実習および実習指導の取り組み   | 共        | 2025年2月            | 仙台白百合女子大学教職課程<br>研究センター報第4号  | 三浦主博<br>松好伸一          |                       | pp. 11-14 |
| 熟達者は未満児クラスを担当する保育者にどのよ<br>うな資質を求めているか(3)<br>H保育者の事例をもとにしたPAC分析から               | 共        | 2024年11月           | 日本乳幼児教育学会第34回大<br>会          | 小森谷一朗<br>田宮希砂<br>駒久美子 |                       |           |
| 究極の選択!!あなたはどっちの保育園に勤めたい?   | 共        | 2024年5月            | 日本保育学会第77回大会                 | 香曾我部琢<br>他8名          |                       |           |
| 保育者が子どもの心情を理解するプロセス<br>—TEMとNIRSによる混合研究法より—                                    | 共        | 2023年5月            | 日本保育学会第76回大会                 | 香曾我部琢<br>他6名          |                       |           |
| 製作遊びにおける幼児の相互作用について<br>—幼児の「視線の先にあるモノ」からみる幼児理解<br>—                            | 単        | 2022年3月            | 宮城教育大学修士論文                   |                       |                       |           |
| 保育者の専門的資質を育成するためのマルチモー<br>ダル分析用情報機器とアプリケーションの活用<br>—幼児の製作遊びにおける保育者の役割について<br>— | 単        | 2021年3月            | 宮城教育大学情報活用能力育<br>成機構研究紀要 第1巻 |                       |                       | pp. 19-27 |

| 翻訳           |          |                    |                        |                 |                        |      |
|--------------|----------|--------------------|------------------------|-----------------|------------------------|------|
| 翻訳書・翻訳論文等の名称 | 単訳<br>共訳 | 発行または発表<br>の年月(西暦) | 発行所、発表雑誌<br>(巻・号数)等の名称 | 共訳者名<br>(共訳の場合) | 監修者名と当該訳者<br>数(監訳書の場合) | 該当頁数 |

|   |  |  |          |                          |  |  |
|---|--|--|----------|--------------------------|--|--|
|   |  |  |          |                          |  |  |
| 学術研究発表                                      |  |  |          |                          |  |  |
| 発表テーマ                                       |  |  | 発表年月(西暦) | 発表場所                     |  |  |
| 保育者が子どもの心情を理解するプロセス<br>－TEMとNIRSによる混合研究法より－ |  |  | 2023年5月  | 日本保育学会第76回 熊本学園大学大会 口頭発表 |  |  |

|                 |    |          |
|-----------------|----|----------|
| II 所属学会         |    |          |
| 学会名             | 役職 | 入会年月(西暦) |
| 日本保育学会          | 会員 | 2019年8月  |
| 日本子ども社会学会       | 会員 | 2021年6月  |
| 日本乳幼児教育・保育者養成学会 | 会員 | 2023年9月  |
| 日本乳幼児学会         | 会員 | 2024年2月  |

|                         |                  |         |       |             |
|-------------------------|------------------|---------|-------|-------------|
| III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間) |                  |         |       |             |
| 助成機関名                   | 助成を受けた年度<br>(西暦) | 助成プログラム | 研究テーマ | 助成金額<br>(円) |
|                         |                  |         |       |             |

### 3. 特記事項

|   |
|---|
| <b>【非常勤講師】</b><br>・宮城教育大学「保育内容(表現)指導法」(2022.10－ ) |
|---|